

# 5歳児の幼児教育・保育・療育の無償化に関するアンケート調査

## 結果報告書

平成30（2018）年11月

門 真 市



# 目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査方法	1
II	調査結果（単純集計）	2
1.	回答者の属性	2
(1)	利用施設	2
(2)	家族構成	3
(3)	年齢構成	4
(4)	子どもの年齢・人数	5
(5)	世帯の年収（平成28年中）	6
2.	無償化について	7
(1)	生活への影響	7
(2)	更なる出産への動機づけ	8
(3)	定住への動機づけ	9
(4)	無償化に対する考え方	10
III	調査結果の分析（クロス集計）	11
1.	集計項目及び分類項目	11
(1)	集計項目	11
(2)	分類項目	11
2.	クロス集計の手法	12
【分類1】	世帯年収別	13
【分類2】	補助形態別	17
【分類3】	利用形態別	21
【分類4】	家族構成別	25
【分類5】	保護者年齢別	29
【分類6】	子ども人数別	33
【分類7】	きょうだい状況別	37
IV	自由意見	42
1.	分類	42
2.	自由意見	43
V	調査票	53



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

門真市では、保護者の負担を軽減し、すべての就学前の5歳児が等しく質の高い幼児教育・保育・療育を受けることができる環境を整え、円滑に小学校教育（義務教育）につなげることを目的に、平成29年4月から5歳児の幼児教育・保育・療育の利用者負担（保育料）の無償化を開始しました。

この取り組みについて、利用者の意見等を把握し、今後の施策に活用するため、アンケート調査を実施するものです。

## 2. 調査方法

**調査対象**：調査時点において無償化の対象である児童のうち、門真市内の幼稚園、保育所、認定こども園及び児童発達支援事業を利用している児童の保護者

**配布・回収**：利用施設を通じ配布・回収（私立児童発達支援施設利用者のみ郵送）

**調査期間**：平成30（2018）年1月17日から平成30（2018）年1月29日

**対象者数**：777人

**有効回答数**：504件（有効回答率：64.9%）

## 3. 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。また、単純集計では小数点第2位以下を、クロス集計では小数点第1位以下を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100%を超える場合があります。

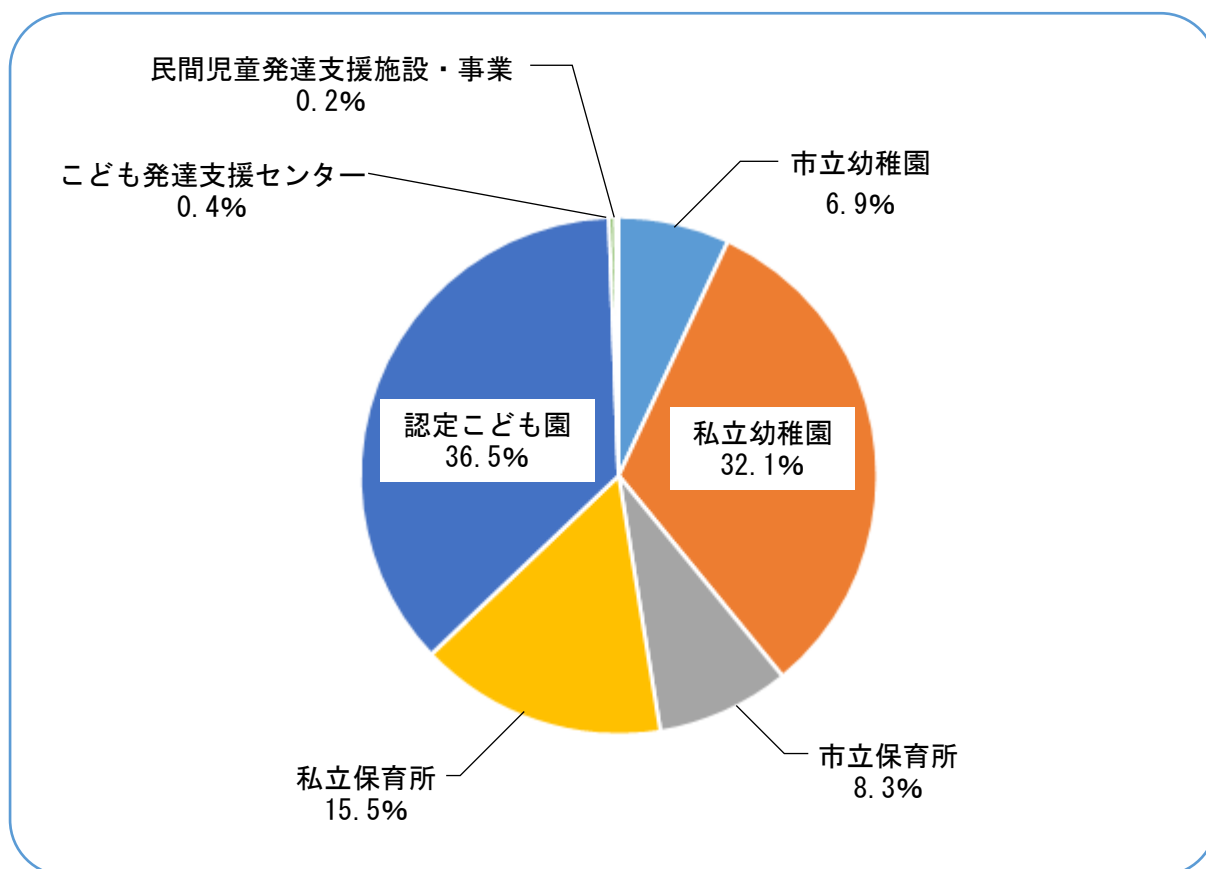
## Ⅱ 調査結果（単純集計）

### 1. 回答者の属性

#### （1）利用施設

Q 1. 5歳児無償化の対象となっているお子様の利用している施設・事業所をお選びください。

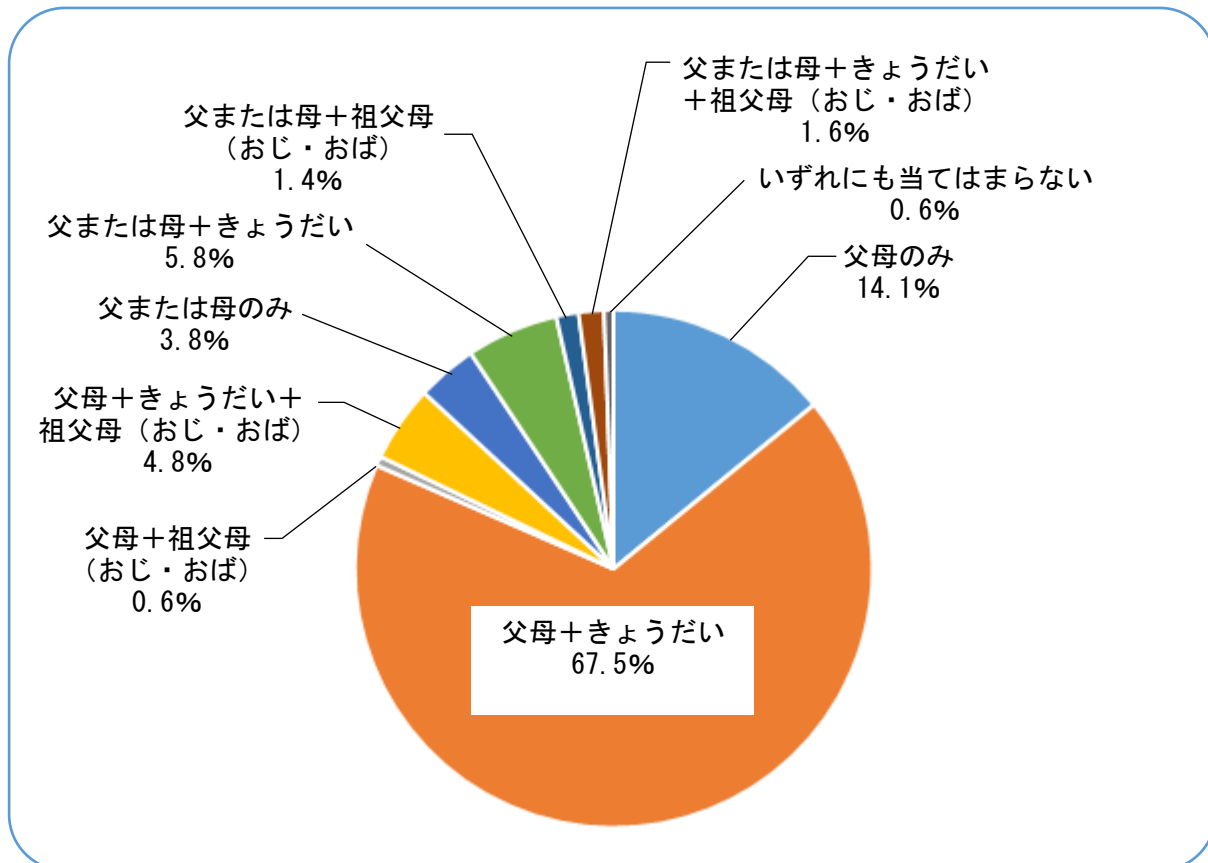
回答者の子どもの利用している施設・事業所については、「認定こども園」が36.5%で最も多く、次いで「私立幼稚園」が32.1%、「私立保育所」15.5%と続いています。



## (2) 家族構成

Q2. 5歳児無償化の対象となっているお子様から見た家族構成（同居者）について、当てはまるものを全てお選びください。

5歳児無償化の対象となっている子どもから見た家族構成は「父母ときょうだい」が67.5%で最も多く、次いで「父母のみ」が14.1%となっており、これらで全体の8割以上を占めています。

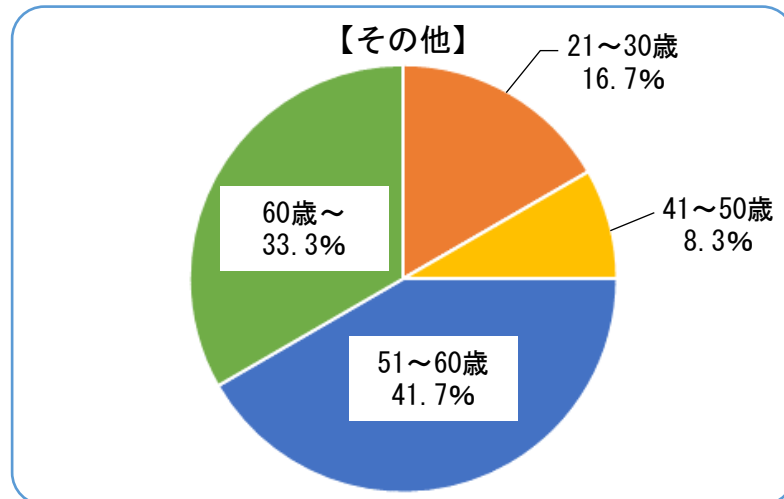
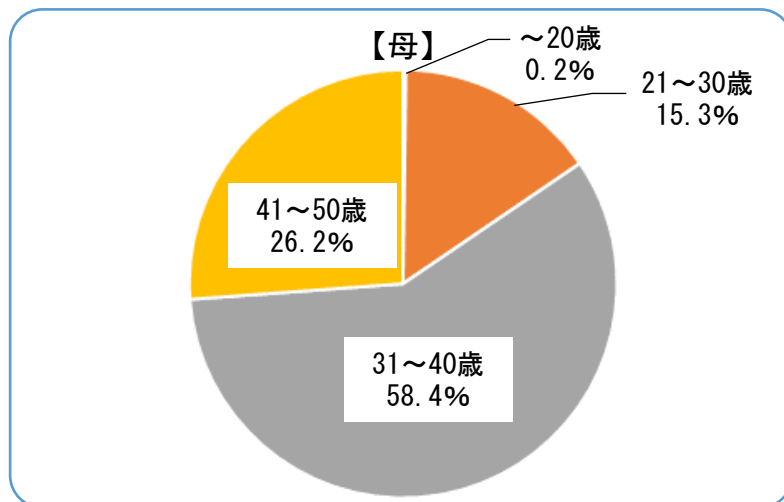
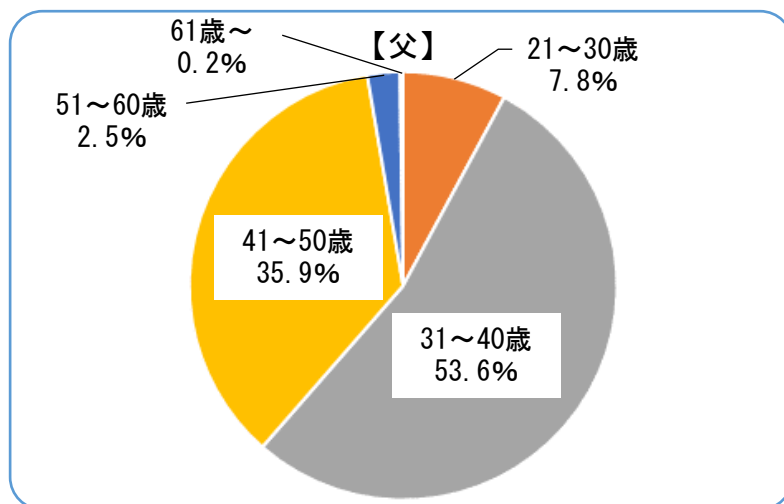


### (3) 年齢構成

Q3. 保護者の年齢をお選びください。※父母以外の場合は「その他」でお選びください。

保護者のうち、父の年齢構成は「31～40歳」が53.6%と過半数を占めており、次いで「41～50歳」が35.9%、「21～30歳」が7.8%と続いています。

母の年齢構成も父と同様に「31～40歳」が58.4%と過半数を占めており、次いで「41～50歳」が26.2%、「21～30歳」が15.3%と続いています。父の年齢構成よりも若干若い年齢の割合が多くなっています。





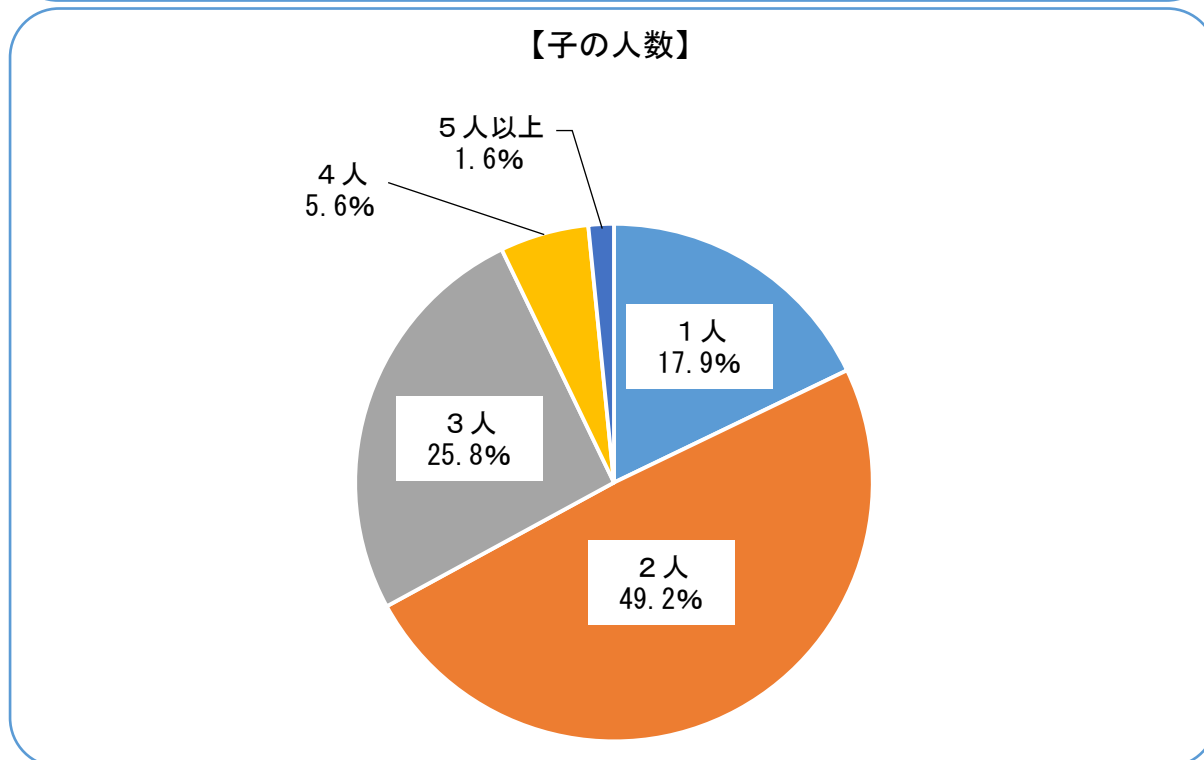
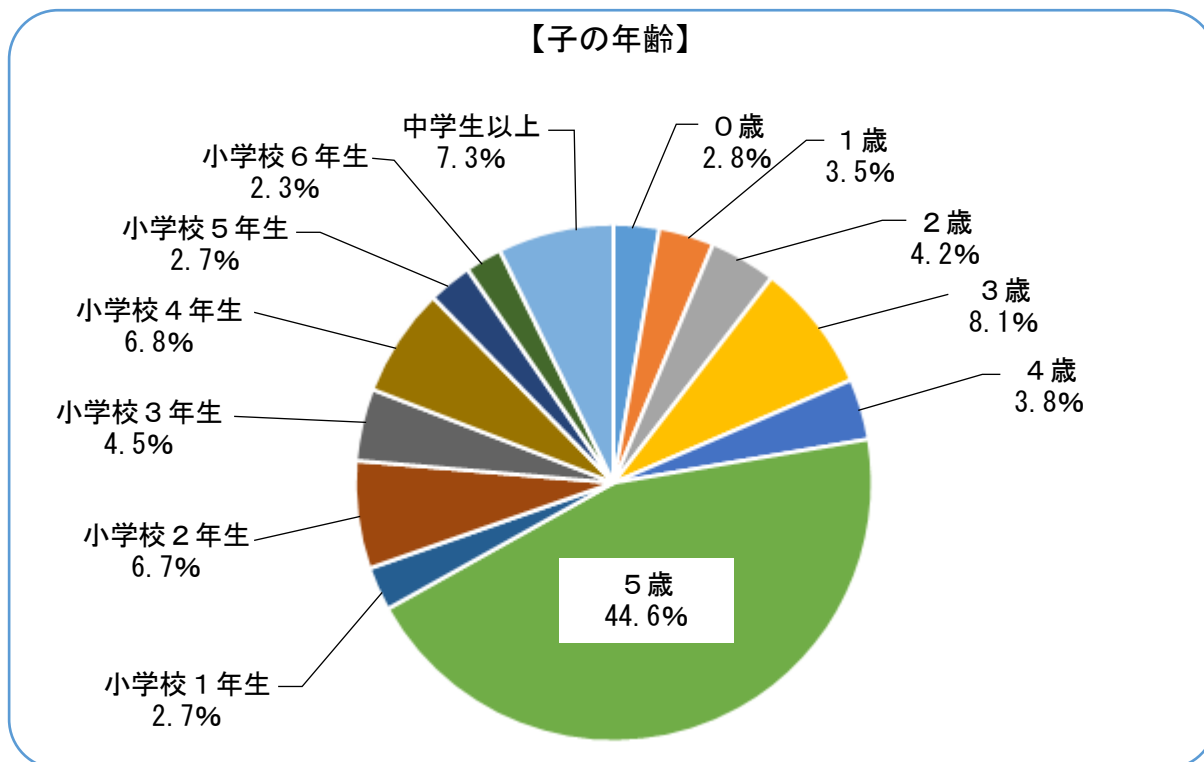
(4) 子どもの年齢・人数

Q 4. すべてのお子様の年齢・人数について、お答えください。(同一世帯、別居を含む)

※平成29年4月1日時点

家族を構成するすべての子どもの年齢は、アンケートを実施した無償化対象の「5歳」の44.6%を除くと「3歳」が8.1%と最も多く、次いで「中学生以上」が7.3%、「小学校4年生」が6.8%、「小学校2年生」が6.7%と続いています。

また、子どもの人数は、「2人」が49.2%と約半数となっており、次いで「3人」が25.8%、「1人」が17.9%と続いています。

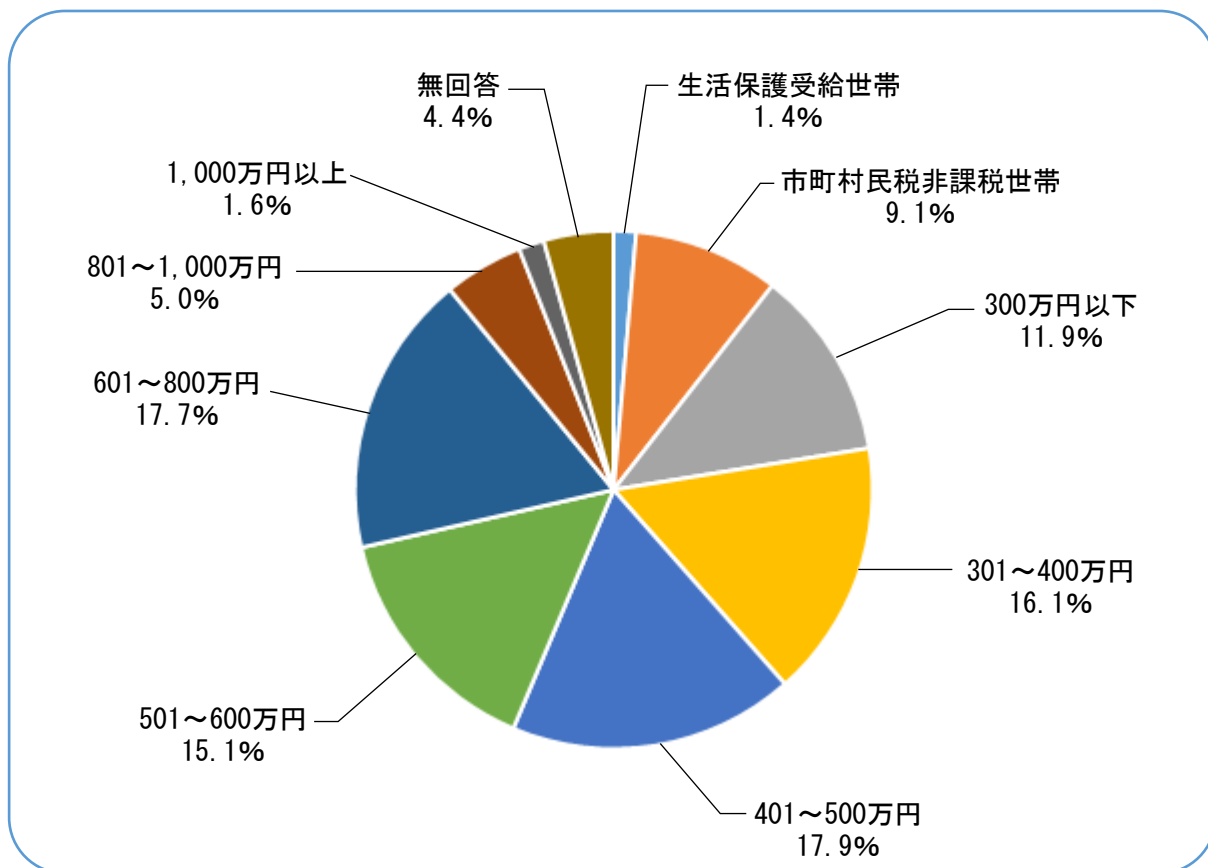


(5) 世帯の年収（平成28年中）

Q 5. 世帯の年収（平成28年中）について、お選びください。

※父母の年収の合算。配偶者控除があれば扶養している父、または母のみ。父母の年収の合算が206万円未満で、同居する祖父または祖母のいずれかの年収が300万円以上であれば、多い方の年収。ひとり親の場合は、その年収。ひとり親の年収が103万円未満で、同居する祖父または祖母のいずれかの年収が300万円以上であれば、多い方の年収。

世帯の年収は、「401～500万円」が17.9%と最も多く、次いで「601～800万円」が17.7%、「301～400万円」が16.1%、「501～600万円」が15.1%と続いています。

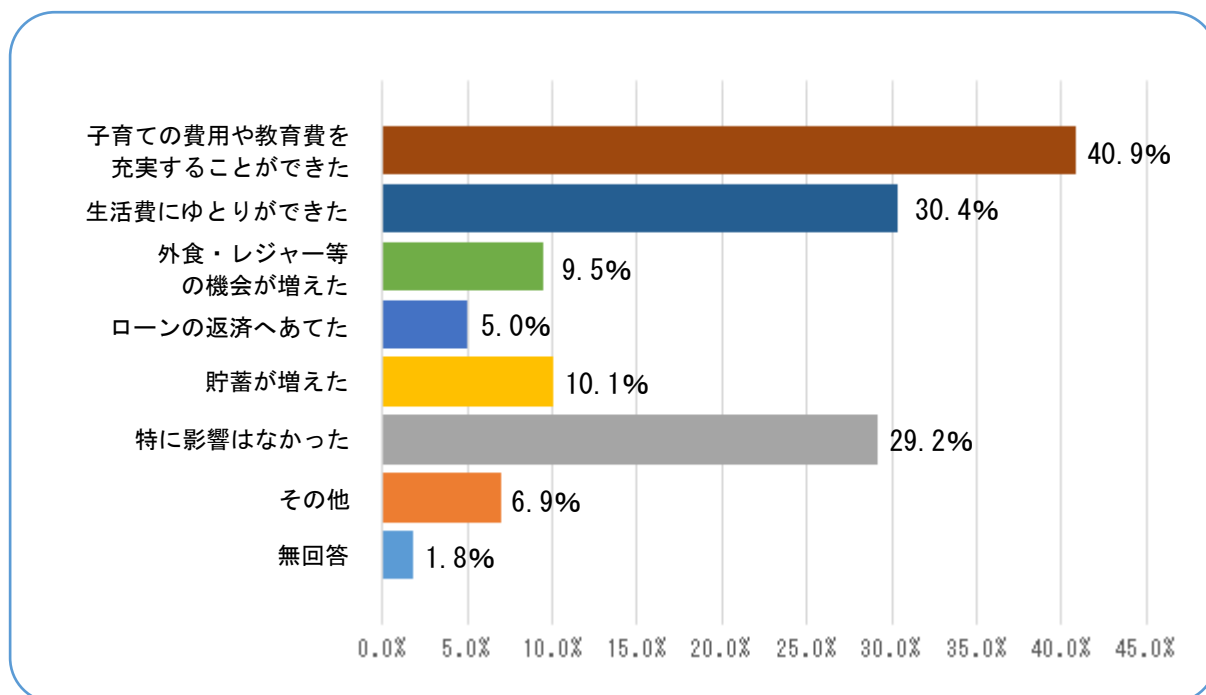


## 2. 無償化について

### (1) 生活への影響

Q6. 5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。(複数回答可)

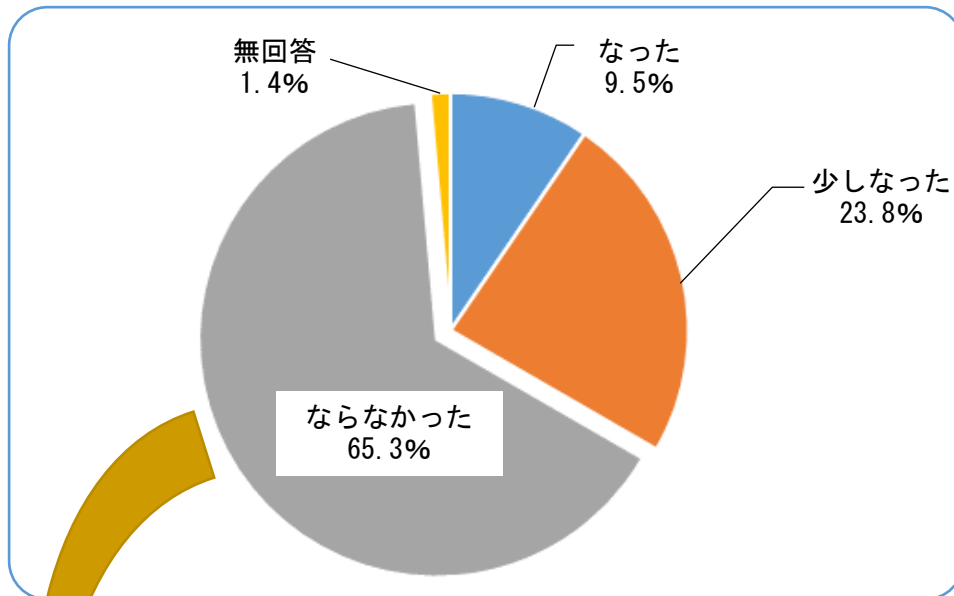
5歳児無償化による生活への影響は、「子育ての費用や教育費を充実することができた」が40.9%と最も多く、次いで「生活費にゆとりができた」が30.4%となっています。



## (2) 更なる出産への動機づけ

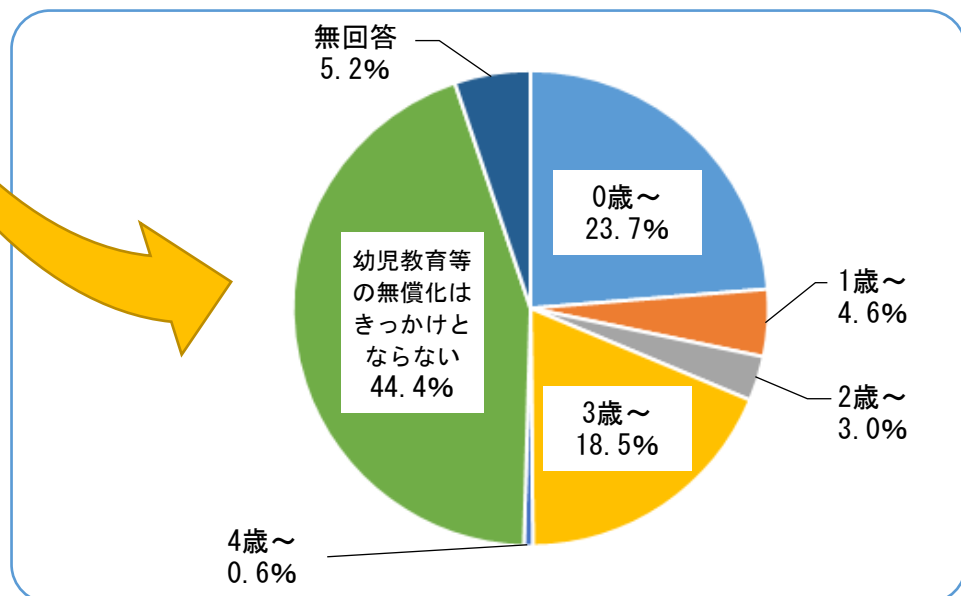
Q7. 5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

5歳児無償化による更なる出産への動機づけの割合は、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけと「ならなかった」が65.3%と最も多く、「なった」の9.5%と「少しなった」の23.8%を合わせた33.3%を上回っています。



※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

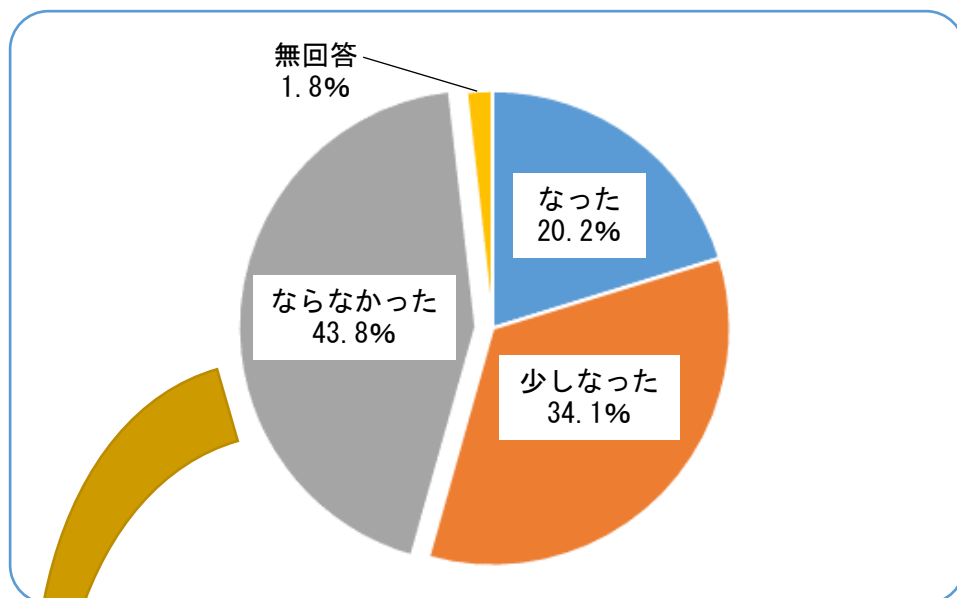
「ならなかった」と回答された65.3%の方に、何歳からの無償化できっかけになるかを聞いたところ、「幼児教育等の無償化はきっかけとならない」が44.4%と最も多くなっていますが、「0歳から」が23.7%、「3歳から」が18.5%と続いており、いずれかの年齢で無償化されると「きっかけとなる」と考えている割合が50.5%と過半数を超えています。



### (3) 定住への動機づけ

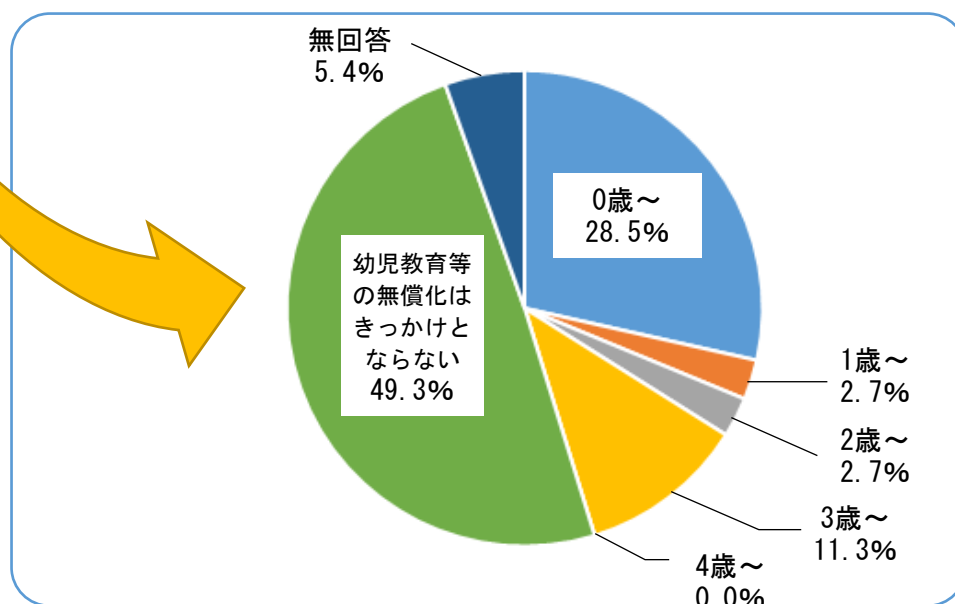
Q 8. 5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

5歳児無償化による定住への動機づけの割合は、門真市に住み続けたいと考えるきっかけと「ならなかった」が43.8%と最も多くなっていますが、「少しなった」の34.1%と「なった」の20.2%を合わせると54.3%と過半数を超えています。



※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなりますか。

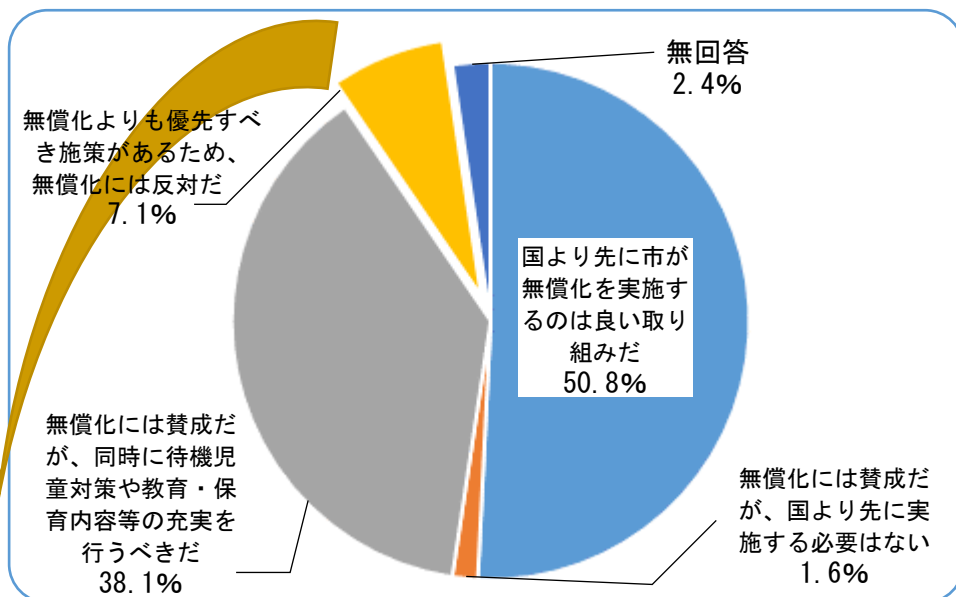
「ならなかった」と回答された43.8%の方に、何歳からの無償化できっかけになるかを聞いたところ、「幼児教育等の無償化はきっかけとならない」が49.3%と最も多くなっており、次いで「0歳から」が28.5%、「3歳から」が11.3%と続いており、いずれかの年齢で無償化されると「きっかけとなる」と考えている割合は45.2%となっています。



#### (4) 無償化に対する考え方

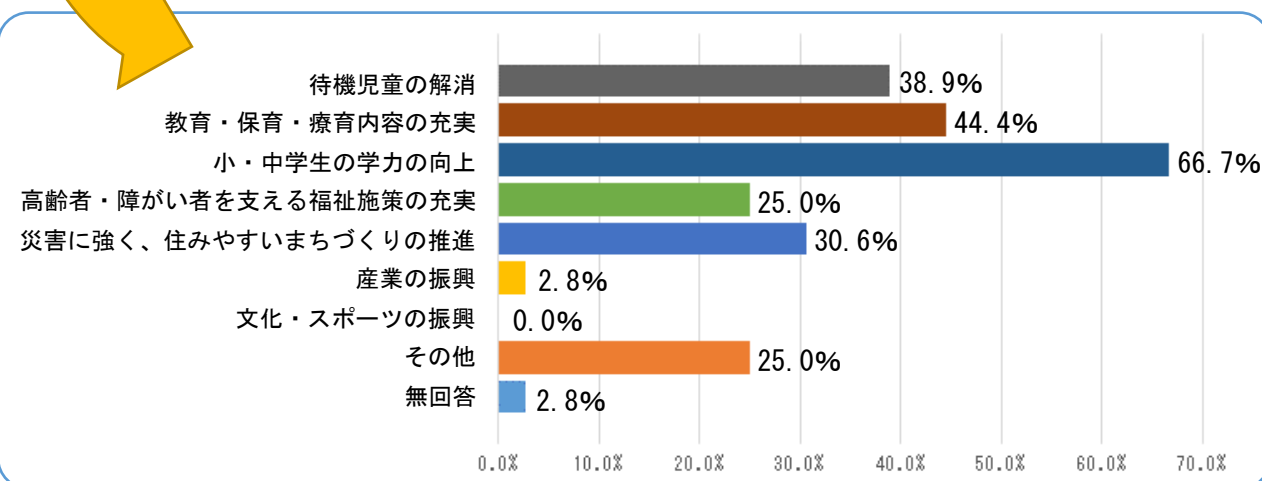
Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

本市の無償化に対する考え方は、「国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ」が50.8%と過半数を占めており、次いで「無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ」が38.1%となっており、これらで全体の約9割を占めています。



※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

「無償化には反対」と回答された7.1%の方に、具体的な優先すべき施策を聞いたところ、「小・中学生の学力の向上」が66.7%と最も多くなっており、次いで「教育・保育・療育内容の充実」が44.4%、「待機児童の解消」が38.9%と続いています。



### Ⅲ 調査結果の分析（クロス集計）

本アンケート調査結果を分析するに当たり、事業効果を測るための質問を「集計項目」、また、回答者の属性に関する質問を「分類項目」とし、各集計項目について各分類項目によりクロス集計を実施しました。

#### 1. 集計項目及び分類項目

##### （1）集計項目

- 【項目1】生活への影響（Q6）
- 【項目2】更なる出産への動機づけ（Q7）
- 【項目2-2】更なる出産への動機づけとなる対象年齢（Q7-2）
- 【項目3】定住への動機づけ（Q8）
- 【項目3-2】定住への動機づけとなる対象年齢（Q8-2）
- 【項目4】無償化に対する考え方（Q9）
- 【項目4-2】無償化より優先すべき施策（Q9-2）

##### （2）分類項目

###### 【分類1】世帯年収別（Q5）

- ①生活保護受給世帯＋市町村民税非課税世帯
- ②年収400万円以下
- ③年収401～600万円以下
- ④年収601万円以上

###### 【分類2】補助形態別（Q1）

- ①事前補助  
(市立幼稚園＋市立保育所＋私立保育所＋認定こども園＋こども発達支援センター)
- ②事後補助  
(私立幼稚園＋民間児童発達支援施設・事業)

###### 【分類3】利用形態別（Q1）

- ①幼児教育利用者（市立幼稚園＋私立幼稚園）
- ②保育利用者（市立保育所＋私立保育所＋認定こども園）
- ③療育利用者（こども発達支援センター＋民間児童発達支援施設・事業）

###### 【分類4】家族構成別（Q2）

- ①核家族（ひとり親家庭除く）  
(父＋母（＋兄弟・姉妹）)
- ②核家族（ひとり親家庭）  
(父又は母（＋兄弟・姉妹）)
- ③その他の世帯

【分類5】保護者年齢別（Q3）

- ①30歳以下
- ②31歳以上40歳以下
- ③41歳以上50歳以下
- ④51歳以上

※母の年齢で分類。（父子世帯は父の年齢で分類）

【分類6】子ども人数別（Q4）

- ①1人
- ②2人
- ③3人
- ④4人以上

【分類7】きょうだい状況別（Q4）

- ①きょうだいなし
- ②3歳未満の弟妹あり
- ③3歳未満の弟妹がおらず、3～4歳の弟妹あり
- ④弟妹がおらず、直近の兄姉が小学1～3年生
- ⑤弟妹がおらず、直近の兄姉が小学4～6年生
- ⑥弟妹がおらず、直近の兄姉が中学生以上

## 2. クロス集計の手法

- (1) 項目1～7の各集計項目について、分類1～7の各分類項目によりクロス集計を実施しました。
- (2) クロス集計を実施するに当たっては、世帯年収別集計を除き、制度的に5歳児無償化の実施以前から無償である生活保護受給世帯及び市独自で無償としている市町村民税非課税世帯（新制度移行施設に限る。）を除いています。
- (3) 上記（2）と同様、補助形態別集計を除き、アンケート実施時点で利用者が無償化に伴う補助金を受け取っておらず、自己負担となる事後補助を除いています。



【分類1】世帯年収別 ※事後補助163人を除く

- ①生活保護受給世帯＋市町村民税非課税世帯 42人（12%）
- ②年収400万円以下 108人（32%）
- ③年収401～600万円以下 94人（28%）
- ④年収601万円以上 81人（23%）
- ⑤無回答 16人（5%）

計341人

（項目1）生活への影響

Q6. 5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。

「特に影響はなかった」の割合は、「生活保護受給世帯＋市町村民税非課税世帯」が57%と高く、「年収401～600万円」と「年収601万円以上」が10%台と低くなっています。

世帯年収	生活保護受給世帯 市町村民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	7	17%	51	47%	49	52%	45	56%	8	50%	160	47%
生活費にゆとりができた	8	19%	39	36%	36	38%	32	40%	5	31%	120	35%
外食・レジャー等の機会が増えた	2	5%	15	14%	16	17%	7	9%	0	0%	40	12%
ローンの返済へあてた	1	2%	6	6%	6	6%	7	9%	0	0%	20	6%
貯蓄が増えた	1	2%	6	6%	15	16%	11	14%	0	0%	33	10%
特に影響はなかった	24	57%	31	29%	16	17%	11	14%	4	25%	86	25%
その他	1	2%	1	1%	2	2%	5	6%	0	0%	9	3%
無回答	2	5%	0	0%	2	2%	0	0%	2	13%	6	2%
合計	46		149		142		118		19		474	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」、「少しなった」を合わせた割合は、無回答を除くと「年収400万円以下」が41%と最も高くなっています。

世帯年収	生活保護受給世帯 市町村民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	5	12%	11	10%	8	9%	10	12%	4	25%	38	11%
少しなった	4	10%	33	31%	26	28%	19	23%	4	25%	86	25%
ならなかった	32	76%	63	58%	57	61%	52	64%	7	44%	211	62%
無回答	1	2%	1	1%	3	3%	0	0%	1	6%	6	2%
合計	42		108		94		81		16		341	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と回答した62%のうち、「きっかけとならない」の割合は、「年収400万円以下」が35%と最も低く、「年収601万円以上」が52%と最も高くなっています。また、「きっかけとなる」年齢は、「年収401～600万円以下」で「0歳～」が33%と最も高くなっています。

世帯年収	生活保護受給世帯 市町村民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	10	31%	19	30%	19	33%	12	23%	1	14%	61	29%
1歳～	0	0%	3	5%	2	4%	4	8%	1	14%	10	5%
2歳～	1	3%	3	5%	1	2%	1	2%	1	14%	7	3%
3歳～	5	16%	12	19%	6	11%	7	13%	1	14%	31	15%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	14	44%	22	35%	24	42%	27	52%	3	43%	90	43%
無回答	2	6%	4	6%	5	9%	1	2%	0	0%	12	6%
合計	32		63		57		52		7		211	

(項目3) 定住への動機づけ

Q8. 5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」、「少しなった」を合わせた割合は、無回答を除くと年収400万円以下が60%と最も高くなっています。

世帯年収	生活保護受給世帯 市町村民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	7	17%	23	21%	24	26%	16	20%	3	19%	73	21%
少しなった	10	24%	42	39%	28	30%	27	33%	8	50%	115	34%
ならなかった	24	57%	43	40%	39	41%	37	46%	3	19%	146	43%
無回答	1	2%	0	0%	3	3%	1	1%	2	13%	7	2%
合計	42		108		94		81		16		341	

(項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と回答した43%のうち、「きっかけとならない」割合は、年収400万円以下が33%と最も低く、「年収601万円以上」と「生活保護受給世帯+市町村民税非課税世帯」が54%と最も高くなっています。「きっかけとなる」年齢は、年収400万円以下で「0歳～」が42%と最も高くなっています。

世帯年収	生活保護受給世帯 市町村民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	8	33%	18	42%	13	33%	11	30%	0	0%	50	34%
1歳～	0	0%	0	0%	1	3%	2	5%	0	0%	3	2%
2歳～	0	0%	3	7%	2	5%	0	0%	1	33%	6	4%
3歳～	3	13%	7	16%	1	3%	3	8%	1	33%	15	10%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	13	54%	14	33%	16	41%	20	54%	0	0%	63	43%
無回答	0	0%	1	2%	6	15%	1	3%	1	33%	9	6%
合計	24		43		39		37		3		146	

(項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ」と「無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ」を合わせた割合は、「年収400万円以下」が95%と最も高くなっています。

世帯年収	市町村生活保護受給世帯 住民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	15	36%	68	63%	44	47%	37	46%	10	63%	174	51%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	0	0%	0	0%	1	1%	3	4%	0	0%	4	1%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	21	50%	35	32%	38	40%	32	40%	3	19%	129	38%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	3	7%	4	4%	8	9%	9	11%	1	6%	25	7%
無回答	3	7%	1	1%	3	3%	0	0%	2	13%	9	3%
合計	42		108		94		81		16		341	

(項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対」と回答した7%の内訳は、「待機児童の解消」、「教育・保育・療育内容の充実」、「小・中学生の学力の向上」、「災害に強く、住みやすいまちづくりの推進」を優先すべきとする割合が高くなっています。ただし、母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

世帯年収	市町村生活保護受給世帯 住民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
待機児童の解消	3	100%	2	50%	5	63%	1	11%	0	0%	11	44%
教育・保育・療育内容の充実	2	67%	2	50%	4	50%	2	22%	0	0%	10	40%
小・中学生の学力の向上	3	100%	1	25%	4	50%	5	56%	1	100%	14	56%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	2	67%	1	25%	1	13%	2	22%	0	0%	6	24%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	1	33%	2	50%	2	25%	3	33%	0	0%	8	32%
産業の振興	0	0%	1	25%	0	0%	0	0%	0	0%	1	4%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	1	33%	3	75%	1	13%	4	44%	0	0%	9	36%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	1	11%	0	0%	1	4%
合計	12		12		17		18		1		60	

【分類2】補助形態別 ※生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯53人を除く

①事前補助 299人 (66%)

(市立幼稚園+市立保育所+私立保育所+認定こども園+こども発達支援センター)

②事後補助 152人 (34%)

(私立幼稚園+民間児童発達支援施設・事業)

計451人

(項目1) 生活への影響

Q6. 5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。

「特に影響はなかった」の割合は、「事前補助」が21%、「事後補助」が36%と「事後補助」の方が15ポイント高くなっています。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	153	51%	43	28%	196	43%
生活費にゆとりができた	112	37%	31	20%	143	32%
外食・レジャー等の機会が増えた	38	13%	7	5%	45	10%
ローンの返済へあてた	19	6%	5	3%	24	5%
貯蓄が増えた	32	11%	18	12%	50	11%
特に影響はなかった	62	21%	55	36%	117	26%
その他	8	3%	26	17%	34	8%
無回答	4	1%	3	2%	7	2%
合計	428		188		616	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」、「少しなった」を合わせた割合は、「事前補助」が38%、「事後補助」が28%と、「事前補助」の方が10ポイント高くなっています。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	33	11%	10	7%	43	10%
少しなった	82	27%	32	21%	114	25%
ならなかった	179	60%	109	72%	288	64%
無回答	5	2%	1	1%	6	1%
合計	299		152		451	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と回答した64%のうち、「0歳～」から「4歳～」までを合わせた割合は「事前補助」で52%、「事後補助」で50%となり、あまり差はありませんでした。「きっかけとなる」年齢は、「事前補助」で「0歳～」、「事後補助」で「3歳～」がともに28%と最も高くなっています。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	51	28%	13	12%	64	22%
1歳～	10	6%	5	5%	15	5%
2歳～	6	3%	3	3%	9	3%
3歳～	26	15%	30	28%	56	19%
4歳～	0	0%	2	2%	2	1%
きっかけとならない	76	42%	52	48%	128	44%
無回答	10	6%	4	4%	14	5%
合計	179		109		288	

### (項目3) 定住への動機づけ

Q8. 5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」、「少しなった」を合わせた割合は、「事前補助」が57%、「事後補助」が53%と「事前補助」の方が4ポイント高くなっているものの、あまり差はありませんでした。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	66	22%	28	18%	94	21%
少しなった	105	35%	53	35%	158	35%
ならなかった	122	41%	69	45%	191	42%
無回答	6	2%	2	1%	8	2%
合計	299		152		451	

#### (項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と回答した42%のうち、「0歳～」から「4歳～」までを合わせた割合は、「事前補助」が51%、「事後補助」が35%と、「事前補助」の方が16ポイント高くなっています。「きっかけとなる」年齢は、「事前補助」で「0歳～」が34%と特に高くなっています。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	42	34%	12	17%	54	28%
1歳～	3	2%	3	4%	6	3%
2歳～	6	5%	0	0%	6	3%
3歳～	12	10%	10	14%	22	12%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	50	41%	41	59%	91	48%
無回答	9	7%	3	4%	12	6%
合計	122		69		191	

#### (項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ」、「無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ」を合わせた割合は、「事前補助」と「事後補助」はともに89%と同じ割合となっています。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	159	53%	76	50%	235	52%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	4	1%	4	3%	8	2%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	108	36%	59	39%	167	37%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	22	7%	10	7%	32	7%
無回答	6	2%	3	2%	9	2%
合計	299		152		451	

#### (項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対」と回答した7%の内訳は、「待機児童の解消」、「教育・保育・療育内容の充実」、「小・中学生の学力の向上」、「高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実」、「災害に強く、住みやすいまちづくりの推進」を優先すべきとする割合が高くなっています。ただし、事後補助は母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
待機児童の解消	8	36%	3	30%	11	34%
教育・保育・療育内容の充実	8	36%	5	50%	13	41%
小・中学生の学力の向上	11	50%	10	100%	21	66%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	4	18%	2	20%	6	19%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	7	32%	2	20%	9	28%
産業の振興	1	5%	0	0%	1	3%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%
その他	8	36%	0	0%	8	25%
無回答	1	5%	0	0%	1	3%
合計	48		22		70	



**【分類3】 利用形態別** ※生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯42人、事後補助152人、生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯かつ事後補助11人を除く

- ①幼児教育利用者 28人 (10%)  
(市立幼稚園)
- ②保育利用者 271人 (90%)  
(市立保育所+私立保育所+認定こども園)

計299人

- ※ 「療育利用者（こども発達支援センター又は民間児童発達支援施設・事業の利用者）」は全員が除外条件のいずれかに該当したため、本分類に用いていません。
- ※ 本分類における「幼児教育利用者」は、市立幼稚園利用者のみとなるため、母数が少なく、保育利用者との比較は難しくなっています。

**(項目1) 生活への影響**

Q6. 5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。

「幼児教育利用者」の「子育ての費用や教育費を充実することができた」が64%と特に高く、「特に影響はなかった」は「幼児教育利用者」、「保育利用者」とともに21%となっています。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	18	64%	135	50%	153	51%
生活費にゆとりができた	10	36%	102	38%	112	37%
外食・レジャー等の機会が増えた	2	7%	36	13%	38	13%
ローンの返済へあてた	1	4%	18	7%	19	6%
貯蓄が増えた	1	4%	31	11%	32	11%
特に影響はなかった	6	21%	56	21%	62	21%
その他	0	0%	8	3%	8	3%
無回答	0	0%	4	1%	4	1%
合計	38		390		428	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」、「少しなった」を合わせた割合は、「幼児教育利用者」が40%、「保育利用者」が39%とほぼ同じ割合となっています。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	1	4%	32	12%	33	11%
少しなった	10	36%	72	27%	82	27%
ならなかった	16	57%	163	60%	179	60%
無回答	1	4%	4	1%	5	2%
合計	28		271		299	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と回答した60%のうち、「0歳～」から「4歳～」を合わせた割合は「幼児教育利用者」で57%、「保育利用者」で51%となっています。「きっかけとなる」年齢については、「幼児教育利用者」が「0歳～」と「3歳～」で19%、保育利用者が「0歳～」で29%と最も高くなっています。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	3	19%	48	29%	51	28%
1歳～	2	13%	8	5%	10	6%
2歳～	1	6%	5	3%	6	3%
3歳～	3	19%	23	14%	26	15%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	7	44%	69	42%	76	42%
無回答	0	0%	10	6%	10	6%
合計	16		163		179	

(項目3) 定住への動機づけ

Q8. 5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」、「少しなった」を合わせた割合は、「幼児教育利用者」が57%、「保育利用者」が58%とほぼ同じ割合となっています。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	5	18%	61	23%	66	22%
少しなった	11	39%	94	35%	105	35%
ならなかった	11	39%	111	41%	122	41%
無回答	1	4%	5	2%	6	2%
合計	28		271		299	

(項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と回答した41%のうち、「0歳～」から「4歳～」を合わせた割合は「幼児教育利用者」が27%、「保育利用者」が55%となり、28ポイントの差があります。「きっかけとなる」年齢は、「保育利用者」の「0歳～」が37%と最も高くなっています。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	1	9%	41	37%	42	34%
1歳～	0	0%	3	3%	3	2%
2歳～	1	9%	5	5%	6	5%
3歳～	1	9%	11	10%	12	10%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	8	73%	42	38%	50	41%
無回答	0	0%	9	8%	9	7%
合計	11		111		122	

#### (項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ」、「無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ」を合わせた割合は、「幼児教育利用者」が93%と、母数が少数のため、「保育利用者」の89%と比較して割合が高めに反映されています。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	16	57%	143	53%	159	53%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	0	0%	4	1%	4	1%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	10	36%	98	36%	108	36%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	2	7%	20	7%	22	7%
無回答	0	0%	6	2%	6	2%
合計	28		271		299	

#### (項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対だ」と回答した7%の内訳は、「待機児童の解消」、「教育・保育・療育内容の充実」、「小・中学生の学力の向上」、「高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実」、「災害に強く、住みやすいまちづくりの推進」を優先すべきとする割合が高くなっています。ただし、「幼児教育利用者」は母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
待機児童の解消	2	100%	6	30%	8	36%
教育・保育・療育内容の充実	1	50%	7	35%	8	36%
小・中学生の学力の向上	0	0%	11	55%	11	50%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	2	100%	2	10%	4	18%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	1	50%	6	30%	7	32%
産業の振興	0	0%	1	5%	1	5%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%
その他	1	50%	7	35%	8	36%
無回答	0	0%	1	5%	1	5%
合計	7		41		48	

**【分類４】 家族構成別** ※生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯42人、事後補助152人、生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯かつ事後補助11人を除く

- ①核家族（ひとり親家庭除く） 245人（82%）  
（父＋母（＋兄弟・姉妹））
- ②核家族（ひとり親家庭） 24人（8%）  
（父又は母（＋兄弟・姉妹））
- ③その他の世帯 30人（10%）

計299人

※ 本分類における、「その他の世帯」の多くは、祖父母との同居を指しています。

**（項目１）生活への影響**

Q6. 5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。

「特に影響はなかった」の割合は核家族（ひとり親家庭除く）で19%と低くなっています。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		核家族 (ひとり親家庭)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	130	53%	11	46%	12	40%	153	51%
生活費にゆとりができた	93	38%	8	33%	11	37%	112	37%
外食・レジャー等の機会が増えた	30	12%	2	8%	6	20%	38	13%
ローンの返済へあてた	18	7%	1	4%	0	0%	19	6%
貯蓄が増えた	27	11%	1	4%	4	13%	32	11%
特に影響はなかった	46	19%	8	33%	8	27%	62	21%
その他	8	3%	0	0%	0	0%	8	3%
無回答	4	2%	0	0%	0	0%	4	1%
合計	356		31		41		428	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」、「少しなった」を合わせた割合は、「核家族（ひとり親除く）」が38%、「核家族（ひとり親）」が34%、「その他の世帯」が43%と、「その他の世帯」が最も高くなっています。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		核家族 (ひとり親家庭)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	27	11%	3	13%	3	10%	33	11%
少しなった	67	27%	5	21%	10	33%	82	27%
ならなかった	146	60%	16	67%	17	57%	179	60%
無回答	5	2%	0	0%	0	0%	5	2%
合計	245		24		30		299	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と回答した60%のうち、「きっかけとならない」の割合は「核家族（ひとり親家庭）」が31%と最も低く、「その他の世帯」が53%と最も高くなっており、22ポイントの差がみられました。「きっかけとなる」年齢は、「核家族（ひとり親家庭除く）」で「0歳～」が29%、「核家族（ひとり親家庭）」で「3歳～」が25%、「その他の世帯」で「0歳～」が35%と、最も高くなっています。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		核家族 (ひとり親家庭)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	42	29%	3	19%	6	35%	51	28%
1歳～	6	4%	2	13%	2	12%	10	6%
2歳～	5	3%	1	6%	0	0%	6	3%
3歳～	22	15%	4	25%	0	0%	26	15%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	62	42%	5	31%	9	53%	76	42%
無回答	9	6%	1	6%	0	0%	10	6%
合計	146		16		17		179	

(項目3) 定住への動機づけ

Q8. 5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」、「少しなった」を合わせた割合は、「核家族（ひとり親家庭除く）」が55%、「核家族（ひとり親家庭）」が71%、「その他の世帯」が63%と、「核家族（ひとり親家庭）」が最も高くなっています。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		核家族 (ひとり親家庭)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	56	23%	4	17%	6	20%	66	22%
少しなった	79	32%	13	54%	13	43%	105	35%
ならなかった	104	42%	7	29%	11	37%	122	41%
無回答	6	2%	0	0%	0	0%	6	2%
合計	245		24		30		299	

(項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と回答した41%のうち、「きっかけとならない」の割合は「核家族（ひとり親）」が29%と低くなっています。「きっかけとなる」年齢は、「0歳～」が「核家族（ひとり親）」で57%、「その他の世帯」で45%と高い割合を占めています。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		核家族 (ひとり親家庭)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	33	32%	4	57%	5	45%	42	34%
1歳～	2	2%	1	14%	0	0%	3	2%
2歳～	5	5%	0	0%	1	9%	6	5%
3歳～	12	12%	0	0%	0	0%	12	10%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	43	41%	2	29%	5	45%	50	41%
無回答	9	9%	0	0%	0	0%	9	7%
合計	104		7		11		122	

#### (項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ」、「無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ」を合わせた割合は、「核家族（ひとり親家庭除く）」で88%、それ以外の世帯で90%以上と高くなっています。なお、「核家族（ひとり親家庭）」では、「反対」と回答された方はいませんでした。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		核家族 (ひとり親家庭)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	130	53%	16	67%	13	43%	159	53%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	4	2%	0	0%	0	0%	4	1%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	85	35%	8	33%	15	50%	108	36%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	20	8%	0	0%	2	7%	22	7%
無回答	6	2%	0	0%	0	0%	6	2%
合計	245		24		30		299	

#### (項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対」と回答した7%の内訳は、「小・中学生の学力の向上」を優先すべきとする割合が高くなっています。ただし、母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
待機児童の解消	7	35%	1	50%	8	36%
教育・保育・療育内容の充実	7	35%	1	50%	8	36%
小・中学生の学力の向上	10	50%	1	50%	11	50%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	4	20%	0	0%	4	18%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	6	30%	1	50%	7	32%
産業の振興	1	5%	0	0%	1	5%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%
その他	8	40%	0	0%	8	36%
無回答	1	5%	0	0%	1	5%
合計	44		4		48	



**【分類5】 保護者年齢別** ※生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯42人、事後補助152人、生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯かつ事後補助11人を除く

- ①30歳以下 50人 (17%)
- ②31歳以上40歳以下 174人 (58%)
- ③41歳以上50歳以下 75人 (25%)

計299人

- ※ 保護者の年齢は、母の年齢で分類しています。なお、父子世帯は、父の年齢で分類していません。
- ※ その他（保護者が父母以外の場合）は、すべてが除外条件のいずれかに該当したため、本分類に用いていません。
- ※ 母の年齢が「51歳以上」は、該当がありませんでした。

**(項目1) 生活への影響**

Q6. 5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。

「子育ての費用や教育費を充実することができた」が50%前後で、すべての年齢で高くなっています。「特に影響はなかった」の割合は、「31歳以上40歳以下」と「41歳以上50歳以下」で10%台と低くなっています。

保護者年齢	30歳以下		31歳以上40歳以下		41歳以上50歳以下		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	24	48%	92	53%	37	49%	153	51%
生活費にゆとりができた	15	30%	66	38%	31	41%	112	37%
外食・レジャー等の機会が増えた	5	10%	25	14%	8	11%	38	13%
ローンの返済へあてた	2	4%	10	6%	7	9%	19	6%
貯蓄が増えた	3	6%	21	12%	8	11%	32	11%
特に影響はなかった	18	36%	30	17%	14	19%	62	21%
その他	0	0%	7	4%	1	1%	8	3%
無回答	2	4%	1	1%	1	1%	4	1%
合計	69		252		107		428	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」、「少しなった」を合わせた割合は、年齢が上がるにつれて低くなり、「30歳以下」が48%と「ならなかった」を2ポイント上回っていますが、「31歳以上40歳以下」と「41歳以上50歳以下」では30%台となり、「ならなかった」の60%台を下回っています。

保護者年齢	30歳以下		31歳以上40歳以下		41歳以上50歳以下		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	7	14%	22	13%	4	5%	33	11%
少しなった	17	34%	46	26%	19	25%	82	27%
ならなかった	23	46%	105	60%	51	68%	179	60%
無回答	3	6%	1	1%	1	1%	5	2%
合計	50		174		75		299	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と回答した60%のうち、「きっかけとならない」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなっています。「きっかけとなる」年齢は、「30歳以下」で「0歳～」が43%と、最も高くなっています。

保護者年齢	30歳以下		31歳以上40歳以下		41歳以上50歳以下		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	10	43%	32	30%	9	18%	51	28%
1歳～	1	4%	7	7%	2	4%	10	6%
2歳～	1	4%	1	1%	4	8%	6	3%
3歳～	3	13%	18	17%	5	10%	26	15%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	7	30%	44	42%	25	49%	76	42%
無回答	1	4%	3	3%	6	12%	10	6%
合計	23		105		51		179	

(項目3) 定住への動機づけ

Q8. 5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」、「少しなった」を合わせた割合は、「30歳以下」が66%と最も高くなっています。「ならなかった」の割合は、「30歳以下」が30%と低く、「31歳以上40歳以下」の45%と比べると15ポイントの差がみられました。

保護者年齢	30歳以下		31歳以上40歳以下		41歳以上50歳以下		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	14	28%	34	20%	18	24%	66	22%
少しなった	19	38%	60	34%	26	35%	105	35%
ならなかった	15	30%	78	45%	29	39%	122	41%
無回答	2	4%	2	1%	2	3%	6	2%
合計	50		174		75		299	

(項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

\*「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と回答した41%のうち、「きっかけとなる」年齢は、「0歳～」が「30歳以下」で53%と、最も高くなっています。「31歳以上40歳以下」と「41歳以上50歳以下」では、「きっかけとならない」が40%台で最も高くなっています。

保護者年齢	30歳以下		31歳以上40歳以下		41歳以上50歳以下		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	8	53%	27	35%	7	24%	42	34%
1歳～	0	0%	2	3%	1	3%	3	2%
2歳～	1	7%	3	4%	2	7%	6	5%
3歳～	0	0%	9	12%	3	10%	12	10%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	5	33%	33	42%	12	41%	50	41%
無回答	1	7%	4	5%	4	14%	9	7%
合計	15		78		29		122	

(項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ」と「無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ」を合わせた割合は、すべての世帯で約9割を占めています。なお、「30歳以下」では、「反対」と回答された方はいませんでした。

保護者年齢	30歳以下		31歳以上40歳以下		41歳以上50歳以下		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	31	62%	87	50%	41	55%	159	53%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	0	0%	2	1%	2	3%	4	1%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	16	32%	67	39%	25	33%	108	36%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	0	0%	16	9%	6	8%	22	7%
無回答	3	6%	2	1%	1	1%	6	2%
合計	50		174		75		299	

(項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対」と回答した7%の内訳は、「31歳以上40歳以下」で「小・中学生の学力の向上」を、「41歳以上50歳以下」で「災害に強く、住みやすいまちづくりの推進」を優先すべきとする割合が高くなっています。ただし、母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

保護者年齢	31歳以上40歳以下		41歳以上50歳以下		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
待機児童の解消	6	38%	2	33%	8	36%
教育・保育・療育内容の充実	6	38%	2	33%	8	36%
小・中学生の学力の向上	9	56%	2	33%	11	50%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	2	13%	2	33%	4	18%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	4	25%	3	50%	7	32%
産業の振興	1	6%	0	0%	1	5%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%
その他	5	31%	3	50%	8	36%
無回答	1	6%	0	0%	1	5%
合計	34		14		48	

**【分類6】子ども人数別** ※生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯42人、事後補助152人、生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯かつ事後補助11人を除く

- ① 1人 59人 (20%)
- ② 2人 150人 (50%)
- ③ 3人 68人 (23%)
- ④ 4人以上 22人 (7%)

計299人

**(項目1) 生活への影響**

Q6. 5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。

子どもの数が「1人」及び「2人」の世帯の「特に影響はなかった」の割合が10%台と特に低くなっています。また、「子育ての費用や教育費を充実することができた」と「生活費にゆとりができた」の割合も、これらの世帯がともに高くなっています。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	31	53%	84	56%	28	41%	10	45%	122	41%
生活費にゆとりができた	20	34%	64	43%	22	32%	6	27%	92	31%
外食・レジャー等の機会が増えた	5	8%	25	17%	7	10%	1	5%	33	11%
ローンの返済へあてた	3	5%	6	4%	6	9%	4	18%	16	5%
貯蓄が増えた	5	8%	20	13%	7	10%	0	0%	27	9%
特に影響はなかった	11	19%	27	18%	16	24%	8	36%	51	17%
その他	0	0%	4	3%	4	6%	0	0%	8	3%
無回答	3	5%	0	0%	1	1%	0	0%	1	0%
合計	78		230		91		29		350	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

子どもの人数に比例して、「ならなかった」人の割合が高くなっています。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	6	10%	18	12%	8	12%	1	5%	33	11%
少しなった	17	29%	43	29%	17	25%	5	23%	82	27%
ならなかった	32	54%	89	59%	42	62%	16	73%	179	60%
無回答	4	7%	0	0%	1	1%	0	0%	5	2%
合計	59		150		68		22		299	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と回答した60%のうち、「きっかけとならない」の割合は、「1人」が56%と最も高くなっています。「きっかけとなる」年齢は、「2人」及び「3人」で「0歳～」の割合が約30%と高くなっています。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	8	25%	27	30%	13	31%	3	19%	51	28%
1歳～	3	9%	4	4%	2	5%	1	6%	10	6%
2歳～	0	0%	4	4%	0	0%	2	13%	6	3%
3歳～	2	6%	16	18%	7	17%	1	6%	26	15%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	18	56%	36	40%	16	38%	6	38%	76	42%
無回答	1	3%	2	2%	4	10%	3	19%	10	6%
合計	32		89		42		16		179	

### (項目3) 定住への動機づけ

Q8. 5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」、「少しなった」を合わせた割合は、「2人」が63%と最も高く、「1人」が48%と最も低くなり、15ポイントの差がみられました。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	10	17%	34	23%	19	28%	3	14%	66	22%
少しなった	18	31%	60	40%	18	26%	9	41%	105	35%
ならなかった	27	46%	55	37%	30	44%	10	45%	122	41%
無回答	4	7%	1	1%	1	1%	0	0%	6	2%
合計	59		150		68		22		299	

### (項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と回答した41%のうち、「きっかけとならない」割合は、「1人」が63%と最も高く、「2人」が27%と最も低くなり、36ポイントの差がみられました。「きっかけとなる」年齢は、「2人」及び「3人」で「0歳～」の割合が高くなっています。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	6	22%	21	38%	12	40%	3	30%	42	34%
1歳～	1	4%	2	4%	0	0%	0	0%	3	2%
2歳～	0	0%	5	9%	0	0%	1	10%	6	5%
3歳～	0	0%	9	16%	3	10%	0	0%	12	10%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	17	63%	15	27%	14	47%	4	40%	50	41%
無回答	3	11%	3	5%	1	3%	2	20%	9	7%
合計	27		55		30		10		122	

(項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ」と「無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ」を合わせた割合は、「4人以上」が95%と最も高く、「1人」が81%と最も低くなり、14ポイントの差がありました。ただし、子どもの人数に比例する特段の傾向はみられませんでした。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	25	42%	85	57%	39	57%	10	45%	159	53%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	1	2%	1	1%	2	3%	0	0%	4	1%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	23	39%	55	37%	19	28%	11	50%	108	36%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	6	10%	8	5%	7	10%	1	5%	22	7%
無回答	4	7%	1	1%	1	1%	0	0%	6	2%
合計	59		150		68		22		299	

(項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対」と回答した7%の内訳は、「待機児童の解消」、「教育・保育・療育内容の充実」、「小・中学生の学力の向上」を優先すべきとする割合が高くなっています。ただし、母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
待機児童の解消	2	33%	4	50%	1	14%	1	100%	8	36%
教育・保育・療育内容の充実	2	33%	2	25%	3	43%	1	100%	8	36%
小・中学生の学力の向上	3	50%	2	25%	6	86%	0	0%	11	50%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	1	17%	1	13%	1	14%	1	100%	4	18%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	2	33%	2	25%	3	43%	0	0%	7	32%
産業の振興	0	0%	1	13%	0	0%	0	0%	1	5%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	1	17%	1	13%	5	71%	1	100%	8	36%
無回答	0	0%	1	13%	0	0%	0	0%	1	5%
合計	11		14		19		4		48	



【分類7】きょうだい状況別 ※生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯42人、事後補助152人、生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯かつ事後補助11人を除く

- ①きょうだいなし 59人 (20%)
- ②3歳未満の弟妹あり 62人 (21%)
- ③3歳未満の弟妹がおらず、3～4歳の弟妹あり 62人 (21%)
- ④弟妹がおらず、直近の兄姉が小学1～3年生 61人 (20%)
- ⑤弟妹がおらず、直近の兄姉が小学4～6年生 42人 (14%)
- ⑥弟妹がおらず、直近の兄姉が中学生以上 13人 (4%)

計299人

(項目1) 生活への影響

Q6. 5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。

「特に影響はなかった」割合は、「きょうだいなし」、「弟妹がおらず、直近の兄姉が小学1～3年生」、「弟妹がおらず、直近の兄姉が小学4～6年生」が10%台と低く、「弟妹がおらず、直近の兄姉が中学生以上」が46%と高くなっています。「影響のあった項目」では、いずれのきょうだい状況でも「子育ての費用や教育費を充実することができた」、「生活費にゆとりができた」の割合が概ね高くなっています。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3～4歳の弟妹あり、3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学1～3年生、弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学4～6年生、弟妹がおらず、		直近の兄姉が中学生以上、弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	31	53%	30	48%	36	58%	28	46%	21	50%	7	54%	153	51%
生活費にゆとりができた	20	34%	26	42%	25	40%	20	33%	18	43%	3	23%	112	37%
外食・レジャー等の機会が増えた	5	8%	10	16%	11	18%	8	13%	4	10%	0	0%	38	13%
ローンの返済へあてた	3	5%	3	5%	3	5%	5	8%	4	10%	1	8%	19	6%
貯蓄が増えた	5	8%	8	13%	7	11%	6	10%	6	14%	0	0%	32	11%
特に影響はなかった	11	19%	13	21%	15	24%	11	18%	6	14%	6	46%	62	21%
その他	0	0%	5	8%	0	0%	1	2%	2	5%	0	0%	8	3%
無回答	3	5%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	4	1%
合計	78		95		97		80		61		17		428	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

「ならなかった」割合は、「きょうだいなし」を除いて、きょうだいの年齢が高くなるほど高くなっています。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3〜4歳の弟妹あり 3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学1〜3年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学4〜6年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が中学生以上 弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	6	10%	12	19%	6	10%	7	11%	2	5%	0	0%	33	11%
少しなった	17	29%	17	27%	18	29%	16	26%	11	26%	3	23%	82	27%
ならなかった	32	54%	33	53%	38	61%	38	62%	29	69%	9	69%	179	60%
無回答	4	7%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	8%	5	2%
合計	59		62		62		61		42		13		299	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と回答した60%のうち、「きっかけとならない」割合は、「きょうだいなし」、「弟妹がおらず、直近の兄姉が小学4〜6年生」が50%台と高く、「3歳未満の弟妹あり」が18%と低くなっています。「きっかけとなる」年齢は、「0歳〜」が「3歳未満の弟妹あり」で55%と高くなっています。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3〜4歳の弟妹あり 3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学1〜3年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学4〜6年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が中学生以上 弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳〜	8	25%	18	55%	13	34%	7	18%	4	14%	1	11%	51	28%
1歳〜	3	9%	2	6%	2	5%	2	5%	0	0%	1	11%	10	6%
2歳〜	0	0%	1	3%	0	0%	2	5%	2	7%	1	11%	6	3%
3歳〜	2	6%	4	12%	6	16%	8	21%	6	21%	0	0%	26	15%
4歳〜	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	18	56%	6	18%	16	42%	17	45%	15	52%	4	44%	76	42%
無回答	1	3%	2	6%	1	3%	2	5%	2	7%	2	22%	10	6%
合計	32		33		38		38		29		9		179	

(項目3) 定住への動機づけ

Q8. 5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」、「少しなった」を合わせた割合は、「3歳未満の弟妹がおらず、3～4歳の弟妹あり」、「弟妹がおらず、直近の兄姉が小学4～6年生」が約65%と高く、「きょうだいなし」の48%に比べると約17ポイントの差がみられました。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3～4歳の弟妹あり 3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学1～3年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学4～6年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が中学生以上 弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	10	17%	20	32%	13	21%	11	18%	10	24%	2	15%	66	22%
少しなった	18	31%	15	24%	28	45%	21	34%	18	43%	5	38%	105	35%
ならなかった	27	46%	27	44%	21	34%	28	46%	14	33%	5	38%	122	41%
無回答	4	7%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	1	8%	6	2%
合計	59		62		62		61		42		13		299	

(項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と回答した41%のうち、「きっかけとならない」割合は、「3歳未満の弟妹あり」が19%と最も低く、「きょうだいなし」が63%と最も高くなり、44ポイントの差がありました。「きっかけとなる」年齢は、「0歳～」が「3歳未満の弟妹あり」で56%と高くなっています。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3～4歳の弟妹あり 3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学1～3年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学4～6年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が中学生以上 弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	6	22%	15	56%	7	33%	8	29%	4	29%	2	40%	42	34%
1歳～	1	4%	0	0%	0	0%	1	4%	0	0%	1	20%	3	2%
2歳～	0	0%	2	7%	1	5%	2	7%	1	7%	0	0%	6	5%
3歳～	0	0%	5	19%	1	5%	6	21%	0	0%	0	0%	12	10%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
きっかけとならない	17	63%	5	19%	11	52%	8	29%	8	57%	1	20%	50	41%
無回答	3	11%	0	0%	1	5%	3	11%	1	7%	1	20%	9	7%
合計	27		27		21		28		14		5		122	

(項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ」と「無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ」を合わせた割合は、「3歳未満の弟妹がおらず、3～4歳の弟妹あり」が97%と最も高く、その他のきょうだい状況においても、概ね8割から9割を占めていますが、「弟妹がおらず、直近の兄弟が中学生以上」では77%と、若干低くなっています。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3～4歳の弟妹あり		直近の兄弟が小学1～3年生 弟妹がおらず、		直近の兄弟が小学4～6年生 弟妹がおらず、		直近の兄弟が中学生以上 弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	25	42%	38	61%	37	60%	31	51%	20	48%	8	62%	159	53%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	1	2%	1	2%	1	2%	1	2%	0	0%	0	0%	4	1%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	23	39%	19	31%	23	37%	23	38%	18	43%	2	15%	108	36%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	6	10%	3	5%	1	2%	6	10%	4	10%	2	15%	22	7%
無回答	4	7%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	1	8%	6	2%
合計	59		62		62		61		42		13		299	

(項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対」と回答した7%の内訳は、「待機児童の解消」、「教育・保育・療育内容の充実」、「小・中学生の学力の向上」を優先すべきとする割合が概ね高くなっています。ただし、母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3～4歳の弟妹あり 3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄弟が小学1～3年生 弟妹がおらず、		直近の兄弟が小学4～6年生 弟妹がおらず、		直近の兄弟が中学生以上 弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
待機児童の解消	2	33%	2	67%	0	0%	2	33%	1	25%	1	50%	8	36%
教育・保育・療育内容の充実	2	33%	1	33%	0	0%	2	33%	2	50%	1	50%	8	36%
小・中学生の学力の向上	3	50%	0	0%	0	0%	4	67%	3	75%	1	50%	11	50%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	1	17%	1	33%	0	0%	1	17%	1	25%	0	0%	4	18%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	2	33%	1	33%	0	0%	3	50%	1	25%	0	0%	7	32%
産業の振興	0	0%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	5%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	1	17%	1	33%	0	0%	2	33%	2	50%	2	100%	8	36%
無回答	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%	1	5%
合計	11		7		1		14		10		5		48	

## IV 自由意見

### 1. 分類

調査票に「無償化以外で期待される子育て支援の取り組みがあれば、ご記入ください。」と自由意見記入欄を設けたところ、有効回答504件のうち194件の記入がありました。記入内容は多岐にわたっていますが、便宜上、以下の16項目に分類しました。

番号	分 類	件数
1	学校教育について	27
2	母子保健・小児医療について	23
3	放課後等の児童・生徒への支援について	22
4	待機児童対策について	19
5	各種保育サービス等について	18
6	幼児教育・保育・療育について	17
7	就学後の経済的負担軽減について	13
8	幼児教育・保育・療育無償化への意見	12
9	保育士・幼稚園教諭等の処遇改善等について	10
10	金銭的支援等について	10
11	子どもの遊び場等について	9
12	安全・安心なまちづくりについて	5
13	子育てと仕事の両立支援について	5
14	出産への支援について	4
15	子どもの貧困対策について	3
16	その他	11

※ 複数の分類に重複する意見や1件で複数記入している意見（計14件）は「再掲」として集計しています。

※ 寄せられた意見は、できる限り原文のとおりに掲載しています。

## 2. 自由意見

番号	分類	意見
1	学校教育について (27件)	<p>教育の充実。</p> <p>学力が低いというイメージが強いので、向上に向けた取り組みに力をいれてもらいたい。</p> <p>小学・中学の学力の向上。</p> <p>とにかく子どもの学力を上げてください。小学校の教育に不満です。あと、中国人の受け入れが多すぎる。マナーが悪すぎます。</p> <p>教育面での充実。</p> <p>門真は学力が低いというイメージ（実際は？）をとってほしい。</p> <p>学力の向上。</p> <p>公立小中学校の統合。</p> <p>学力向上。住人の品位向上。</p> <p>門真市の子どもは学力が低めなので、もっと勉強に力をいれてほしい。</p> <p>学校のトイレのウォシュレット化。汚い、臭いでトイレを我慢している子が多いです。健康にも悪いので、各階に1つでもウォシュレットにして頂けたらいいと思います。（公立）</p> <p>無償化は賛成ですが、小学校の給食費を少し負担して、おいしい物を食べさせてあげたい。給食があまりおいしくないと感じたので…。</p> <p>小学校の教員の増員。</p> <p>低学年30人学級。中学校では遅い。小学校低学年のうちに丁寧に対応するべき。</p> <p>学力向上。</p> <p>小中学校の授業内容の充実。教員、保育士への賃金値上げ。</p> <p>小中学生学力向上。運動能力向上。</p> <p>小中学校の質の向上。</p> <p>小中学生の学力向上、制服実施。</p> <p>学力向上に力を入れてほしい。小学校が低学年から学級崩壊している。</p> <p>北巢本小学校は年々児童が減り、1クラスは心配だと引越される方も何人も聞きます。</p> <p>廃校なども心配され不安にも感じております。校区を広げるなどの策は考えられないでしょうか。</p>

番号	分類	意見
		<p>門真市の北巢本小の校区を拡大してほしい。子どもの数が年々減少しています。</p> <p>小学生へのマナーとルールの約束（ピンポンダッシュ、家の前にお菓子のゴミのポイ捨て）</p> <p>小学校にもスクールバスなどがあればいいと思います。（不審者、声掛けなどの防止のため）</p> <p>門真市の子ども達全体の学力向上。</p> <p>スクールカウンセラーの充実。</p> <p>学力向上、子どもが学びたいと思う授業内容、テスト前など苦手と思う子を対象に補習授業など。（塾をメインではなく←行けない子もいるので）</p>
2	母子保健・小児医療について (23件)	<p>インフルエンザの予防注射、学校などで行ってほしい。（保育園、幼稚園）2回もするのは金銭的に無理。（子供多いので）</p> <p>医療費助成の引き上げは良かったのですが、できれば1ヶ所500円じゃなく1カ月全体で500円までになれば良いなと思いました。</p> <p>歯科検診やフッ素塗布クーポン。</p> <p>インフルエンザワクチン等の無償化。</p> <p>予防接種の無償化。</p> <p>予防注射の負担額を軽くする。例えばインフルエンザ。子どもは2回接種なので、<math>2,500円 \times 2回 \times 3人 = 15,000円</math></p> <p>こども医療費助成制度、無償化を希望します。</p> <p>予防接種の負担軽減。</p> <p>幼児～未就園児まで、身体測定が頻繁にあればよい。土日実施等の健診があれば、来やすい家庭もあるのではないかと感じる。</p> <p>任意の予防接種にも補助があると良い。</p> <p>予防接種の無償化。</p> <p>インフルエンザ予防接種の料金が高いので、せめて小学校ぐらいまでは1,000円くらいで受けれるようにしてほしい。</p> <p>医療費の無償化。</p> <p>医療費無償化。</p> <p>予防接種の自己負担額を下げしてほしい。</p> <p>医療費18歳以下無償化</p> <p>医療費を無償化してほしい。</p> <p>待機児童の解消。予防接種の無償化。通学路の安全。</p> <p>予防接種の負担軽減があれば助かると思います。</p> <p>医療費や出産費も無料になればよいと思う。</p>



番号	分類	意見
		ワクチンの補助金、特にインフルエンザワクチンは毎年の事なので大変です。高齢者の補助はあるのに、なぜ子供にはないのでしょうか？あとは、赤ちゃんの遊び場の場所が片寄っている気がするので行きたいけれどなかなかいけません。
		インフルエンザワクチンを受ける費用を高齢者と同じように1回1000円にしてほしい（高校生以下）
		医療費の無償化。
3	放課後等の児童・生徒への支援について (22件)	児童クラブの料金を安くしてほしい。
		塾以外の教育が受けられる教室があれば。
		児童クラブ（学童）に行きたくないと思っている小学生がまわりにもたくさんいるので、保育内容を見直してもらいたい。
		学童に入っていないなくても夏休み等の長期休暇中に、小学生を預かってもらえる施設があるといいと思う。
		児童クラブの受け入れ数、学年の拡張と受け入れ時間の延長。 (病児保育も)
		学童保育の時間を考えてほしい。
		放課後児童クラブの月謝をもう少し安くするとか、兄弟割引にしてほしい。夏休み、冬休みなどのみ使いたくても、使えなく不便。臨時の預かりを小学校でもしてほしい。
		学童の時間延長。現在18：00までとなっているが、19時までにしてほしい。17時集団下校だと自宅での1人の時間が長くなり、防犯的に不安。
		小学校の児童クラブの無償化、もしくは守口市の小学校のような「わいわい」みたいな制度を作してほしい。誰もがいつでも好きな時に利用できるもの。（放課後や長期休暇中に利用できるもの）
		夏休み等の長期休み期間を対象とした学童保育→小学生。
		学童保育の時間延長してほしい。
		学童での給食を実施してほしい。
		放課後児童クラブの減額。
		学童保育の質の向上。
		病児保育の拡充、児童クラブの拡大と時間延長。
		土日の児童保育学割。
		小学校の放課後の預かり（学童以外で）。守口市の小学校のわいわい活動を門真市でも作ってほしい。
		児童クラブのような、大阪市内でも実施されてるような「いきいき」があればもっといいのになと思う。

番号	分類	意見
		<p>小学校他の放課後クラブをもう少し充実（預かり金額、内容）してほしい。</p> <p>小学生低学年の一時預かり。</p> <p>幼稚園だけでのことだけでなく、小学生の学童保育の充実など、先の事にも力をいれてほしい。大阪市のいきいきなどと同じようなものがあればと思います。</p> <p>小学生以上に放課後学習を学力レベルごとに強化してほしいです。</p>
4	待機児童対策について (19件)	<p>保育園、児童クラブなどの待機児童を減らす。</p> <p>待機児童をなくすこと。</p> <p>保育園を増やしてほしい。待機児童が多い。</p> <p>待機児童ゼロ！</p> <p>いくら無償化されても、園に入れないと意味がない。無償化よりも待機児童の解消が先だと思う。</p> <p>待機児童の解消と、保育・教育の充実。</p> <p>待機児対策。</p> <p>病児保育の充実。待機児童対策。</p> <p>実際現在待機児童をかかえている為、そちらの対策や解決策の提示・実施を切に希望。</p> <p>待機児童の解消。保育士や職員の待遇改善が必要。</p> <p>待機児童の取り組み。</p> <p>待機児童の解消</p> <p>児童手当が少ない。何より子育て支援の取り組みに必要なのは、待機児童をなくす事と、もっと社会に子育てを理解してもらい、女性が働きやすくしてほしい。</p> <p>無償化には賛成だが母親も働ける環境で子どもも安心して預けられるために待機児童の対策を。</p> <p>待機児童対策。働きたいのに預け先がなければ働けない。なのに、働いていなければ預けられない。この矛盾を何とかしてほしい。</p> <p>待機児童の解消。予防接種の無償化。通学路の安全。※再掲</p> <p>認可外保育園でもいいので、近くがあればよかったと思う。長男を保育園に入れたかったが、待機児童扱いとなり、簡単に市役所の方に認可外にいては？と言われましたが、思っているより場所が遠く、あきらめるしかありませんでした。交通が不便すぎます。</p> <p>待機児童対策。</p> <p>待機児童の解消。</p>

番号	分類	意見
5	各種保育サービス等について (18件)	病児保育が増えればいいのと思う。
		病児保育などの働く父母への支援。
		児童クラブの受け入れ数、学年の拡張と受け入れ時間の延長。 (病児保育も) ※再掲
		病児保育の拡大とその利用しやすさ。
		当日予約でも可能な預け先の充実。
		病児保育の充実。待機児童対策。 ※再掲
		病児保育の充実。冬は病児保育の希望者があふれているので何とかしてほしい。
		病児保育の充実。
		児童館の充実 (滋賀県みたいな)
		認定こども園によって延長保育の料金に差がありすぎるのが気になります。
		一時保育の充実。
		病児保育の拡充、児童クラブの拡大と時間延長。 ※再掲
		片親家庭や共働き家庭の子どもの見守り支援。子どもが病気になった時の病児保育の拡充。
		子どもの病気の時の預かり保育。
		病児保育の充実。
時間外保育の充実。		
無認可保育は料金が高いため、安くで土日祝預けられる様な場があれば尚助かる。(もちろん就労者のみ)		
病児保育の拡充(預かり人数をもっと多くしてほしい。保育時間の延長をしてほしい)		
6	幼児教育・保育・療育について (17件)	子供にかかるお金は親が用意すべき。無償化にして将来子どもの負担が大きくなるのは反対。無償化よりもっと質の高い教育を受け入れるようにしてほしい。
		主食費、給食費の無償化。
		待機児童の解消と、保育・教育の充実。 ※再掲
		保育、教育内容の充実。
		男性と同じように、働く両親が同等な場合は急なお迎えが厳しかったり、帰りが6時以降になったりするので、病児への対応やお迎えへの理解などがほしい。
		園で受けられる「おけいこ事」の充実。(サッカー、ダンス教室など種類を増やしてほしい。)
		土曜保育も保護者が休みであっても登園できるようにしてほしい。
		教育・保育・療育内容の充実。

番号	分類	意見
		<p>保育施設の質や環境を充実させる。</p> <p>1号と2号で給食費に差があること。</p> <p>どの幼稚園も園で調理された暖かい給食だったと思います。子供の行っている園は、仕出し弁当なので冬は冷たそうで、やっぱり暖かい食物の方が、よりおいしいだろうと思います、給食施設の充実を希望します。</p> <p>教育・保育内容の充実。</p> <p>幼保を完全に一体化し、働いている人もそうでない人も預けられる時間帯の選択肢を増やしたり、教育を受ける機会が増えたりするといいなあと思います。</p> <p>給食費等の希望口座からの引き落とし。（普段使っていない口座への入金負担）</p> <p>教員の質の向上。</p> <p>制服や保育・学用品の支援（費用）</p> <p>給食費無料化。</p>
7	就学後の経済的負担軽減について (13件)	<p>子どもが小さいうちはかかるお金はしれているので、本当にお金のかかる中高、それ以上も充実させてほしいです。</p> <p>義務教育の完全無償化</p> <p>高校の無償化</p> <p>小中学校すべてを無償化にし、学校に係る雑費も全て無料（給食費など）になるなら子どもが増えると思う。将来に不安があるから子は持てない。</p> <p>5歳児無償化はとてもありがたかったのですが、小学校に上がれば授業料はかかりませんが、働いていますので別で学童費がいるし、PTA会費なども安くないと聞いたのでそのあたりが、もう少しどうにかなればと思います。</p> <p>小中学校の給食費、修学旅行などの費用を無償化にしてください。</p> <p>こども手当などの減額をし、給食費などを無料にしてほしい。</p> <p>高校無償化（収入の制限なく）をしてほしい。</p> <p>小学生の制服化にしてくれたら、服代が助かる。</p> <p>私立の小学校、中学校も無償化まではいなくても何らかの市や国の援助があれば良いと思います。</p> <p>晩婚化により子どもが小さい頃は父母がある程度の年齢である程度の収入があることにより、支援がほとんど受けられず税金ばかり払っている。子どもが中学生、高校生になる頃に定年を迎え、収入がなくなっても、その頃にはもともと何の支援制度もない。不公平感極まりないと思う。</p>

番号	分類	意見
		小学校になった途端に色々な施設がかかるお金が高くなるので利用する機会が減る。
		高校授業料の補助。
8	幼児教育・保育・療育無償化への意見（12件）	保育料をなくしたところで子どもに還元することは少ないと思う。
		無償化よりも0歳児から保育料を安くしてほしい。
		守口市みたいに0歳児からの保育無償化には反対です。今まで保育料を払ってきた人が納得いかない。
		5歳児の無償化はうれしかったけど、たった1万ちょっと浮いただけでカツカツの生活やったらしんどいには変わらない。
		子育てが落ち着く5歳児を楽にしても、次の子をほしいとは思わない。0～2歳くらいがしんどかったので、もう子育てしたいと思わない。もっと小さいうちにサポートがほしい。
		急な無償化の廃止がないようにしてほしい。
		少子化の歯止めになるといいと思う。
		私立幼稚園は後から返ってきますが、親が保育料を立替えなくてもいいようにした方がいいと思います。
		まだ補助金が出ていないので判断できない。生活保護世帯に補助金は出すべきじゃない。
		まだされていないのでわからない。
		5歳児無償化はうれしいが、毎月の支払は今まで通りで、年度の最後にまとめて支給される制度は見直してほしい。結局毎月支払があるし、まとめて支給なら年度初めのほうが助かる。
		幼稚園完全無償化。
9	保育士・幼稚園教諭等の処遇改善等について（10件）	無償化ではなく保育料を安くするとか、完全に無償化するよりは少しでも保育料を領収するとか、先生たちが働きやすい環境になれば子供たちも楽しく安全に保育できるとも思える。生活保護受給者が子どもを多く産んでる印象があるが、そうならないために頑張っている世帯への支援は少ないです。
		保育士の給料アップと社会福祉法人の報酬改善による安定した保育所運営。
		先生の数を増やす。すべての先生（園長含む）の教育。先生のはけ口が子どもに向いている様子があります。
		無償化にしなくてもいいので、保育士さんの待遇や給与面で改善したらどうかなと思う。
		幼児教育等従事者の待遇の改善。

番号	分類	意見
		<p>保育者が安心安全に保育が提供できるシステム。又は、その為にも働きやすい制度を整える。いい先生が退職していかれるという実態が多くある。</p> <p>園の教諭の給与を上げてほしい。労働に見合った額でないのか、入れ替わりが激しい。</p> <p>教員、保育士の十分な配置。ゆとりのある（時間、施設とも）保育。</p> <p>小中学校の授業内容の充実。教員、保育士への賃金値上げ。※再掲</p> <p>待機児童の解消。保育士や職員の待遇改善が必要。※再掲</p>
10	金銭的支援等について (10件)	<p>子ども手当アップ</p> <p>子どものいる世帯に平等に子育て費用を渡してほしい。</p> <p>習い事で使用できるクーポン。</p> <p>習い事にかかる費用の補助（英会話、スイミングスクール等）</p> <p>こども手当を増やしてほしい。</p> <p>子ども手当延長</p> <p>児童手当が少ない。何より子育て支援の取り組みに必要なのは、待機児童をなくす事と、もっと社会に子育てを理解してもらい、女性が働きやすくしてほしい。※再掲</p> <p>一定の習い事を支援する。</p> <p>児童手当の延長。</p> <p>子ども手当の増額。</p>
11	子どもの遊び場等について (9件)	<p>門真市は整備されていない公園が多いので、その整備をしてほしい。公園で年寄りが溜まり、タバコを吸ったり、お酒を飲んでいるので子どもを遊ばせにくい。犬を放し飼いにしている人もいて、安全に遊べないので、指導、見回りしてほしい。</p> <p>門真市に安全で大きい公園を増やしてほしいです。</p> <p>公園を増やしてほしい（ボール遊びができる、凧揚げOKの）</p> <p>公園の充実。小さい子から大きい子、ボール遊び等を小さな公園で一緒に遊んでいることがとても危険。</p> <p>子どもが遊べる施設の充実。→公園でボール遊び禁止の所が多い。子どもが自転車等で行ける範囲内にのびのびと遊べる場があればと思う。駐車場、施設使用料等、無料もしくは格安で利用しやすいところを希望。</p> <p>子どもがのびのびと野球やサッカーのできる場所を作ってほしい。</p> <p>ワクチンの補助金、特にインフルエンザワクチンは毎年の事なので大変です。高齢者の補助はあるのに、なぜ子供にはないの</p>



番号	分類	意見
		<p>でしょうか？あとは、赤ちゃんの遊び場の場所が片寄っている気がするので行きたいけれどなかなかいけません。※再掲</p> <p>室内遊具等の子どもの遊び場。</p> <p>公園の整備、もう少し無料で子どもが遊べる場所や施設があれば嬉しい。5歳以下のみで安全に遊べる場所がほしい。</p>
12	安全・安心なまちづくりについて (5件)	<p>道路、歩道の整備。押ボタン信号の設置。砂子小学校に通うと、愉快の湯前の道を渡らせられないため、市外へ転出しました。歩道なく道路狭く通行量が多い。トラック、バス通行時に恐怖を感じます。</p> <p>安全なまちづくり</p> <p>待機児童の解消。予防接種の無償化。通学路の安全。※再掲</p> <p>安心して子育てできる治安の向上。</p> <p>児童の安全の為の専門家による教育、指導。(犯罪に巻き込まれたり、事故にあわないようにするため)</p>
13	子育てと仕事の両立支援について (5件)	<p>病児保育などの働く父母への支援。※再掲</p> <p>子育てが落ち着いたあとに、仕事を始めやすい環境。</p> <p>働き方の多様化に伴い、居宅外、居宅内労働にかかわらず、保育の認定の点数を一律にするべき。家にいるから見られるだろうという安易な考え方は子育て世代の労働意欲をそぐものである。</p> <p>ホームカメラ(希望者、共働き世帯)無料配布。</p> <p>児童手当が少ない。何より子育て支援の取り組みに必要なのは、待機児童をなくす事と、もっと社会に子育てを理解してもらい、女性が働きやすくしてほしい。※再掲</p>
14	出産への支援について (4件)	<p>産休・育休制度の義務化、出産費用助成金の充実。</p> <p>出産費用と産後の生活支援(パート従事者等低所得者)。園に入れるまでの収入減における生活苦からの子どもの貧困。</p> <p>不妊治療の補助、助成金。</p> <p>母子保健・小児医療について※再掲</p>
15	子どもの貧困対策について (3件)	<p>無償化にするよりも、貧困でごはんが十分に食べられない子供達などそういった事に目を向けてほしい。連日のニュースを見るととてもつらくなる。</p> <p>出産費用と産後の生活支援(パート従事者等低所得者)。園に入れるまでの収入減における生活苦からの子どもの貧困。※再掲</p> <p>子ども食堂。</p>
16	その他 (11件)	<p>近所に虐待を疑われる家庭がある為、今まで189に通報したがその後訪問するなどの行動がないように思う。市の家庭児童相</p>

番号	分類	意見
		<p>談センターと連携して現場に行くなどの事をしなければ、取り返しのつかないことになると思いますよ！</p>
		<p>門真市役所がまじめに仕事をする。</p>
		<p>保育園から習い事の場所まで送迎してくれる支援。</p>
		<p>子供会の入会の自由化。地域により強制だったり、自由だったり疑問です。</p>
		<p>税金を住民税非課税世帯に使うのではなく元となる税金を納めている住民に、健康診断など手厚くしてほしい。</p>
		<p>生活保護を必要とする人は現状の数字より、うんと少ないはず。生活するためにもらう生活保護費の使い道をもっと調べるべき。生活保護者の方が豊かな生活・食事をしているのが現実。</p>
		<p>無償化は助かりますが、お給料が増えない限り、生活は楽になりません。何をやるにもお金がいきり、税金でたくさんもっていかれて、働けど手元には残らない。</p>
		<p>市に対しては特になし。国に対しては、年少扶養控除の復活を求める。</p>
		<p>扶養控除を復活してほしい。</p>
		<p>税金の引き下げ。</p>
		<p>無償化案も素晴らしいとは思いますが、モンペアが増えない為の保護者の相談場所等あるといいかと・・・（市役所とは別の）。親同士が集まってあれこれ話した所で、ただの文句大会だけにしかならず問題解決にはつながらないと思うので・・・。家族身内、保護者間ではない相談窓口があると嬉しいです。</p>



## V 調査票

(ホッチキス止め)

### 5歳児の幼児教育・保育・療育の無償化に関するアンケート調査

門真市では、保護者の負担を軽減し、すべての就学前の5歳児が等しく質の高い幼児教育・保育・療育を受けることができる環境を整え、円滑に小学校教育（義務教育）につなげることを目的に、平成29年4月から、5歳児の幼児教育・保育・療育の利用者負担（保育料）の無償化を開始しました。

この取り組みについて、利用者の皆様のご意見、ご感想をうかがい、今後の施策に活用するため、アンケート調査を実施することとなりましたので、ご協力をお願いいたします。

#### 【5歳児の幼児教育・保育・療育の無償化の実施方法】

利用される施設ごとの無償化の実施方法は次のとおりです。

1号認定利用者負担額 (幼稚園・認定こども園)	世帯の所得等に関係なく、利用者負担額を無料
2号認定利用者負担額 (保育所・認定こども園・地域型保育事業)	世帯の所得等に関係なく、利用者負担額を無料
私立幼稚園保育料 (新制度に移行していない幼稚園)	世帯の所得等に関係なく、30万8千円を上限に、支払った保育料等に対して就園奨励費を補助
児童発達支援施設・事業利用料	世帯の所得等に関係なく、利用者負担相当額を給付金として支給 ※こども発達支援センターは利用者負担額を免除

※ 新制度に移行していない私立幼稚園をご利用されている方への就園奨励費補助金は、ご利用の幼稚園を通じて、平成30年3月ごろに交付されます。

(ホッチキス止め)

提出期限：平成30年1月29日（月）まで

提出先：お子様ご利用の園（施設）

#### 【問い合わせ先】

門真市こども部保育幼稚園課  
電話：06-6902-6757（直通）

下記設問について、ご記入または○をつけてご回答をお願いします。

Q 1. 5歳児無償化の対象となっているお子様の利用している施設・事業所をお選びください。

1. 市立幼稚園      2. 私立幼稚園      3. 市立保育所      4. 私立保育所
5. 認定こども園      6. こども発達支援センター      7. 民間児童発達支援施設・事業

Q 2. 5歳児無償化の対象となっているお子様から見た家族構成(同居者)について、当てはまるものを全てお選びください。

1. 父 (単身赴任を含む)
2. 母 (単身赴任を含む)
3. 兄弟・姉妹
4. 祖父・祖母
5. おじ・おば
6. その他(具体的に)  
( )

Q 3. 保護者の年齢をお選びください。※父母以外の場合は「その他」でお選びください。

- 父 ( ~20歳 ・ 21~30歳 ・ 31~40歳 ・ 41~50歳 ・ 51~60歳 ・ 61歳以上)  
母 ( ~20歳 ・ 21~30歳 ・ 31~40歳 ・ 41~50歳 ・ 51~60歳 ・ 61歳以上)  
その他 ( ~20歳 ・ 21~30歳 ・ 31~40歳 ・ 41~50歳 ・ 51~60歳 ・ 61歳以上)

Q 4. すべてのお子様の年齢・人数について、お答えください。(同一世帯、別居を含む)  
※平成29年4月1日時点

- 0歳 ( )人 ・ 1歳 ( )人 ・ 2歳 ( )人  
3歳 ( )人 ・ 4歳 ( )人 ・ 5歳 ( )人  
小学1年 ( )人 ・ 小学2年 ( )人 ・ 小学3年 ( )人  
小学4年 ( )人 ・ 小学5年 ( )人 ・ 小学6年 ( )人  
中学生以上～ ( )人

Q 5. 世帯の年収(平成28年中)について、お選びください。

※父母の年収の合算。配偶者控除があれば扶養している父、または母のみ。父母の年収の合算が206万円未満で、同居する祖父または祖母のいずれかの年収が300万円以上であれば、多い方の年収。ひとり親の場合は、その年収。ひとり親の年収が103万円未満で、同居する祖父または祖母のいずれかの年収が300万円以上であれば、多い方の年収。

1. 生活保護受給世帯
2. 市町村民税非課税世帯
3. 300万円以下
4. 301～400万円
5. 401～500万円
6. 501～600万円
7. 601～800万円
8. 801～1,000万円
9. 1,000万円以上

Q 6. 5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。(複数回答可)

1. 子育ての費用や教育費を充実することができた
2. 生活費にゆとりができた
3. 外食・レジャー等の機会が増えた
4. ローンの返済へあてた
5. 貯蓄が増えた
6. 特に影響はなかった
7. その他( )

Q 7. 5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

1. なった
2. 少しなった
3. ならなかった

※3を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

- a. 0歳～
- b. 1歳～
- c. 2歳～
- d. 3歳～
- e. 4歳～
- f. 幼児教育等の無償化はきっかけとならない

Q 8. 5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

1. なった
2. 少しなった
3. ならなかった

※3を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

- a. 0歳～
- b. 1歳～
- c. 2歳～
- d. 3歳～
- e. 4歳～
- f. 幼児教育等の無償化はきっかけとならない

Q 9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

1. 国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ
2. 無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない
3. 無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ
4. 無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ

※4を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

- a. 待機児童の解消
- b. 教育・保育・療育内容の充実
- c. 小・中学生の学力の向上
- d. 高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実
- e. 災害に強く、住みやすいまちづくりの推進
- f. 産業の振興
- g. 文化・スポーツの振興
- h. その他( )

Q10. 無償化以外で期待される子育て支援の取り組みがあれば、ご記入ください。

( )

ご協力ありがとうございました

